

スポーツで元気なまちづくり!

Let's Try
15min

CHALLENGEDAY

住民総参加型の
スポーツイベント

チャレンジデー

2015



チャレンジデー 2015レポート

チャレンジデー 2015

200万人のスポーツイベント

CHALLENGEDAY

「スポーツで元気なまちづくり」

チャレンジデー 2015 レポート

目次

I チャレンジデー概要

チャレンジデーとは	4
チャレンジデー 2015 基本ルール	6
チャレンジデー 2015 実施概要	7
チャレンジデー 2015 対戦組合せ・結果表	8
チャレンジデー 2015 実施自治体 MAP	16
チャレンジデー大使参加レポート	18
各自体によるアスリート・著名人参加レポート	19
自治体マスコット・オリジナルキャラクターによる PR	22
チャレンジデー実施自治体へのサポート	24
チャレンジデー 2015 アワード	26
全国共通イベント	28
全国共通イベント結果一覧	28
秋田県全 25 市町村チャレンジデー実施	29
北海道愛別町・鷹栖町・東神楽町「B&G 秋のチャレンジデー」	32
新郷村（チャレンジデー大賞）のチャレンジデーでの取り組み	34
株式会社伊藤園様からの協賛	37
チャレンジデー 2015 レポート集計	38

II チャレンジデー 2015 実施報告（130 自治体）

（50 音順）

北海道

愛別町（あいべつちょう）	44
芦別市（あしべつし）	46
標津町（しべつちょう）	48
新得町（しんとくちょう）	50
鷹栖町（たかすちょう）	52
苫前町（とままえちょう）	54
名寄市（なよろし）	56
東神楽町（ひがしかくらちょう）	58
美瑛市（びはいし）	60
深川市（ふかがわし）	62
富良野市（ふらのし）	64
本別町（ほんべつちょう）	66
幕別町（まくべつちょう）	68
芽室町（めむろちょう）	70

青森県

新郷村（しんごうむら）	72
田子町（たっこまち）	74
藤崎町（ふじさきまち）	76

岩手県

奥州市（おうしゅうし）	78
大槌町（おおつちちょう）	80
軽米町（かるまいまち）	82
北上市（きたかみし）	84
葛巻町（くずまきまち）	86
陸前高田市（りくぜんたかたし）	88

宮城県

七ヶ浜町（しちがはままち）	90
東松島市（ひがしまつしまし）	92

秋田県

秋田市（あきたし）	94
井川町（いかわまち）	96
羽後町（うごまち）	98
大潟村（おおがたむら）	100
大館市（おおだてし）	102
男鹿市（おがし）	104
潟上市（かたがみし）	106
鹿角市（かづのし）	108
上小阿仁村（かみこあにむら）	110
北秋田市（きたあきたし）	112
小坂町（こさかまち）	114
五城目町（ごじょうめまち）	116
仙北市（せんぼくし）	118
大仙市（だいせんし）	120
にかほ市（にかほし）	122
能代市（のしろし）	124
八郎潟町（はちろうがたまち）	126
八峰町（はっほうちょう）	128
東成瀬村（ひがしなるせむら）	130
藤里町（ふじさとまち）	132
美郷町（みさとちょう）	134
三種町（みたねちょう）	136
湯沢市（ゆざわし）	138
由利本荘市（ゆりほんじょうし）	140
横手市（よこてし）	142

山形県

鶴岡市（つるおかし）	144
------------	-----

福島県

伊達市（だてし）	146
----------	-----

茨城県	
行方市 (なめがたし)	148
常陸太田市 (ひたちおおたし)	150
栃木県	
上三川町 (かみのかわまち)	152
芳賀町 (はがまち)	154
埼玉県	
小鹿野町 (おがのまち)	156
秩父市 (ちちぶし)	158
千葉県	
いすみ市 (いすみし)	160
東京都	
昭島市 (あきしまし)	162
小金井市 (こがねいし)	164
狛江市 (こまえし)	166
神奈川県	
伊勢原市 (いせはらし)	168
大井町 (おおいまち)	170
開成町 (かいせいまち)	172
寒川町 (さむかわまち)	174
座間市 (ざまし)	176
逗子市 (すしし)	178
松田町 (まつだまち)	180
真鶴町 (まなづるまち)	182
山北町 (やまきたまち)	184
湯河原町 (ゆがわらまち)	186
富山県	
魚津市 (うおづし)	188
南砺市 (なんとし)	190
舟橋村 (ふなはしむら)	192
山梨県	
甲斐市 (かいし)	194
南部町 (なんぶちょう)	196
長野県	
飯綱町 (いひづなまち)	198
喬木村 (たかぎむら)	200
東御市 (とうみし)	202
南相木村 (みなみあいきむら)	204
岐阜県	
土岐市 (とぎし)	206
羽島市 (はしまし)	208
愛知県	
大治町 (おおはるちょう)	210
扶桑町 (ふそうちょう)	212
碧南市 (へきなんし)	214
大阪府	
柏原市 (かしわらし)	216
兵庫県	
豊岡市 (とよおかし)	218
養父市 (やぶし)	220
奈良県	
広陵町 (こうりょうちょう)	222
和歌山県	
上富田町 (かみとんだちょう)	224

島根県	
海士町 (あまちょう)	226
雲南市 (うんなんし)	228
岡山県	
赤磐市 (あかいわし)	230
新庄村 (しんじょうそん)	232
広島県	
北広島町 (きたひろしまちょう)	234
竹原市 (たけはらし)	236
三次市 (みやしし)	238
山口県	
宇部市 (うべし)	240
山口市 (やまぐちし)	242
徳島県	
鳴門市 (なるとし)	244
三好市 (みやしし)	246
香川県	
多度津町 (たどつちょう)	248
丸亀市 (まるがめし)	250
高知県	
宿毛市 (すくもし)	252
福岡県	
大牟田市 (おおむたし)	254
みやこ町 (みやこまち)	256
佐賀県	
神埼市 (かんざきし)	258
長崎県	
大村市 (おおむらし)	260
熊本県	
あさぎり町 (あさぎりちょう)	262
山江村 (やまえむら)	264
山都町 (やまとちょう)	266
大分県	
宇佐市 (うさし)	268
杵築市 (きつきし)	270
豊後大野市 (ぶんごおおのし)	272
豊後高田市 (ぶんごたかだし)	274
宮崎県	
諸塚村 (もろつかそん)	276
鹿児島県	
阿久根市 (あくねし)	278
奄美市 (あまみし)	280
指宿市 (いぶすきし)	282
霧島市 (きりしまし)	284
南大隅町 (みなみおおすみちょう)	286
南さつま市 (みなみさつまし)	288
和泊町 (わどまりちょう)	290
沖縄県	
伊江村 (いえそん)	292
石垣市 (いしがきし)	294
大宜味村 (おおぎみそん)	296
豊見城市 (とみぐすくし)	298
南城市 (なんじょうし)	300
東村 (ひがしそん)	302

Ⅲ データ集

チャレンジデー実施自治体・地域推移表 (1993年～2015年)	306
チャレンジデー実施実績表 (1993年～2015年)	318

チャレンジデーとは

5月の最終水曜日に全国一斉開催



毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体間で、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツなどの身体活動を行った住民の『参加率(%)』を競い合います。対戦に敗れた場合は、勝った自治体の旗を庁舎のメインホールに翌日から1週間掲揚するというユニークなルールによって行われる“まちの威信と名誉”をかけた住民総参加型のスポーツイベントです。



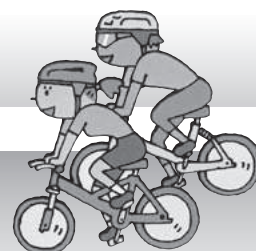
いつでも、どこでも、誰でも参加できるのが特徴

チャレンジデーは、従来のスポーツイベントのように一部の限られた人たちが、ひとつの会場に集まってスポーツをするのではなく、その日、チャレンジデーを実施する自治体にいる人であれば、自宅・学校・職場など、どこでも、どんな運動やスポーツをしてもよく、年齢・性別を問わず誰でも気軽に参加できる点が大きな特徴です。住民がひとつの目標に向かって一致団結することで、仲間意識や連帯感が生まれ、地域のコミュニティづくりや自治体の活性化にもつながります。



勝ち負けは二の次 – Challenge Day Spirit –

チャレンジデーは、運動やスポーツをした住民の参加率(%)を競い合うスポーツイベントですが、より大切なことは、勝敗の結果ではなく、みんなが運動やスポーツを通じて一日楽しめたかどうか、その年の目標やテーマが達成できたかどうかです。達成できた自治体と参加者が真の“勝者”なのです。



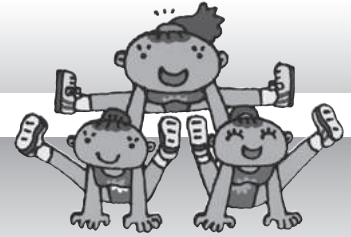
自治体間の交流のきっかけに！

チャレンジデーがきっかけとなり、さまざまな形で自治体間交流が生まれています。過去の対戦事例では、特産物の交換からお互いの表敬訪問が始まったり、子どもたちの交換交流事業が実施されたりしています。2011年の東日本大震災時には、過去に対戦した自治体から、被災した自治体へ多くの救援物資が贈られるなど、自治体間交流にもつながりました。



全国に「わがまち」を大きくPRするチャンス！

チャレンジデーは、従来にはないユニークなスポーツイベントとしてテレビや新聞などの報道機関に注目されています。チャレンジデーの開催準備から当日の取り組みまでの様子は報道機関によって広く紹介されます。全国に「わがまち」をPRすることができるのも、チャレンジデー実施の大きな特典のひとつです。



住民の健康に対する意識が高められ、 継続することで医療費の削減にも期待

チャレンジデーは、住民が運動やスポーツを通じて健康に対する意識を高めるきっかけとなるスポーツイベントです。運動やスポーツが習慣化し、健康でいきいきとした住民が増えることで、将来の医療費の削減が期待できます。



自治体がひとつになって実施！

チャレンジデーの実施にあたっては各自治体の首長を代表とした実行委員会を結成いただきます。行政、民間団体双方の関係者を広く組織化いただくことで、官民が協力しての開催となり、一体感が生まれます。

自治体がひとつになって取り組むことができるスポーツイベントがチャレンジデーであり、スポーツを通じた健康づくりや、まちづくりにも有効です。



チャレンジデー 2015 基本ルール

🕒 趣 旨

住民の健康づくりやコミュニティづくりなど、スポーツを通じた『明るいまちづくり』のきっかけとなることを期待し、5月の最終水曜日に全国一斉に開催する、住民総参加型のスポーツプログラムがチャレンジデーである。

🕒 基本ルール

- 【実施日時】 2015年（平成27年）5月27日 水曜日 午前0時～午後9時
- 【募集対象】 市区町村単位での実施が可能な自治体
- 【実施方法】 15分間以上続けて、運動やスポーツをした『住民の参加率（%）』を競い合う。
- 【人 口】 2015年（平成27年）2月1日現在の人口を使用する（住民基本台帳登録者数）
- 【対戦組合せ】 人口規模により分けられたカテゴリー内（P8参照）で対戦する。対戦組合せは抽選で決定（抽選は笹川スポーツ財団（以下SSF）で実施）。
双方の合意により特定の自治体等と対戦を希望する場合はその要望を優先する。
- 【エール交換】 対戦相手が決定したら実行委員会代表（市区町村長）によるエールの交換を行う（文書、電話（テレビ電話）、ビデオ等）
- 【旗の交換】 お互いのまちの旗を事前に交換する（チャレンジデー翌日の旗の掲揚セレモニーに使用）
- 【集 計】 当日集計（午後10時に最終集計参加率を算出しSSFに報告）
- 【旗の掲揚】 対戦に敗れた自治体は翌日から1週間庁舎のメインホールに相手の自治体の旗を掲揚する。

🕒 参加方法

- 【参加対象】 規定時間内にチャレンジデーを実施する当該自治体区域内にいる全ての人が参加可能（住民以外にその地域で働く人、通学・通園する人、観光客等も参加対象となる）
年齢・性別による除外規定は設けないこと。
- 【実施種目】 15分間以上継続した運動やスポーツであれば、どのような種目でもOK
- 【実施時間】 午前0時から午後9時までの間であればいつでもOK
- 【実施場所】 チャレンジデーを実施する自治体の中であれば自宅や学校、職場、スポーツ施設、広場など、どこでもOK
- 【参加登録】 15分間以上運動やスポーツをした人は、集計センターに参加したことを報告（登録用紙を提出、電話、FAX、電子メールなど）
- 【参加時間】 チャレンジデーは午後9時に終了するが、住民等からの参加登録の締切りは午後9時30分までとする。

🕒 参加率の集計

- 【集計報告】 チャレンジデー実施自治体は、参加人数および参加率を以下の時間にSSFに報告する。
SSFでは全実施自治体の参加率を取りまとめ、全実施自治体および全国の報道機関各社に連絡する。
〔第1回報告〕 午後1時 〔SSFからの公式発表〕 午後1時30分頃
〔第2回報告〕 午後5時 〔SSFからの公式発表〕 午後5時30分頃
〔最終報告〕 午後10時（最終参加率） 〔SSFからの公式発表〕 午後11時頃（最終参加率）
※ 参加率の途中経過を対戦相手と報告し合うことは構わないが、最終参加率はSSFからの公式発表を待つこと。
- 【結果発表】 午後11時前後にSSFから全実施自治体および全国の報道機関各社に発表。
参加率の他、カテゴリーに応じて「金・銀・銅」のメダルを確定し発表する。
- 【禁止事項】 ダブルカウントの禁止
チャレンジデー当日、参加者はさまざまなイベントやスポーツに何回チャレンジしても良いが、公正な参加率を算出するため、集計センターでの参加登録は「1人1回（票）」とする。ダブルカウントをしないよう、集計センターでは事前に工夫しておくこと。

🕒 その他

- 【アスリートや著名人の参加】 P19～21に掲載
アスリートやプロスポーツ選手がチャレンジデーに参加し、他の参加者と一緒にスポーツを楽しむなど大いに盛り上がるイベントとなった。
- 【メダル認定証授与式】
セミナーと同時開催（2015年8月28日（金））にて、参加率に応じた「金・銀・銅」のメダル認定証の授与式を行う。
- 【チャレンジデーアワード】 P26～27に掲載
①チャレンジデー大賞、②新人賞、③参加率アップ賞、④ベストPR賞、⑤広報アイデア賞、⑥笹川スポーツ財団特別賞の6つをそれぞれの選考基準にて授与する。
また、各カテゴリー内の1位に「カテゴリー優秀賞」を授与する。
- 【全国共通イベント】 P28に掲載
チャレンジデーに取り組む各自治体の参加者が、共通のルールにより参加できるスポーツイベントを実施している。
チャレンジデー2015では、①ロープ・ジャンプ・X、②ロープ・ジャンプ・EX、③スポーツごみ拾い、④空き缶積み上げの4種目を対象とした。

チャレンジデー2015 実施概要

【開催】 2015年(平成27年)5月27日 水曜日 午前0時～午後9時

【実施自治体】 130ヵ所(69市48町13村) 【総人口】 5,254,533人

【総参加数】 2,771,720人 【平均参加率】 52.7%

【後援】 総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、観光庁、全国市長会、全国町村会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、健康日本21推進全国連絡協議会、公益財団法人全国スポーツ推進委員連合、公益社団法人日本青年会議所、公益財団法人スポーツ安全協会、一般社団法人アスリートネットワーク、特定非営利活動法人日本オリンピック協会、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会、プロスポーツ昭和50年会、一般社団法人日本女子サッカーリーグ、公益財団法人日本ゲートボール連合、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、公益財団法人マリンスポーツ財団、特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会

【特別協賛】 日本財団

【協賛】 株式会社伊藤園

都道府県名	自治体名	人口	参加者数	参加率	メダル
北海道	愛別町	3,098	1,923	62.1%	銀
	芦別市	15,370	5,839	38.0%	銀
	標津町	5,417	4,564	84.3%	金
	新得町	6,447	4,109	63.7%	金
	鷹栖町	7,265	4,617	63.6%	金
	苫前町	3,377	1,940	57.4%	銀
	名寄市	29,090	17,681	60.8%	金
	東神楽町	10,245	5,284	51.6%	銀
	美唄市	23,952	9,412	39.3%	銀
	深川市	22,257	12,551	56.4%	金
	富良野市	23,278	10,759	46.2%	銀
	本別町	7,706	5,174	67.1%	金
	幕別町	27,649	8,395	30.4%	銅
	芽室町	19,191	12,338	64.3%	金
青森県	新郷村	2,741	3,206	117.0%	金
	田子町	6,143	3,233	52.6%	銀
	藤崎町	15,596	9,156	58.7%	金
岩手県	奥州市	122,366	83,647	68.4%	金
	大槌町	12,543	6,653	53.0%	銀
	軽米町	9,955	5,217	52.4%	銀
	北上市	93,758	32,169	34.3%	銀
宮城県	葛巻町	6,853	4,688	68.4%	金
	陸前高田市	20,366	14,898	73.2%	金
秋田県	七ヶ浜町	19,430	10,850	55.8%	金
	東松島市	40,204	18,204	45.3%	銀
	秋田市	318,826	69,237	21.7%	銀
	井川町	5,143	4,215	82.0%	金
	羽後町	16,353	9,053	55.4%	金
	大湯村	3,284	1,430	43.5%	銀
	大館市	76,660	53,370	69.6%	金
	男鹿市	30,205	15,858	52.5%	金
	湯上市	33,899	23,783	70.2%	金
	鹿角市	33,243	22,610	68.0%	金
	上小阿仁村	2,589	1,656	64.0%	銀
	北秋田市	34,716	20,381	58.7%	金
	小坂町	5,643	3,498	62.0%	金
	五城目町	10,182	5,735	56.3%	金
	仙北市	28,570	14,607	51.1%	銀
	大仙市	86,546	44,767	51.7%	金
	にかほ市	26,405	10,822	41.0%	銀
	能代市	56,966	24,525	43.1%	銀
	八郎潟町	6,324	3,970	62.8%	金
	八峰町	7,878	5,188	65.9%	金
	東成瀬村	2,698	2,567	95.1%	金
	藤里町	3,623	3,057	84.4%	金
	美郷町	20,909	14,343	68.6%	金
	三種町	18,134	8,268	45.6%	銀
	湯沢市	48,890	25,298	51.7%	金
	由利本荘市	81,866	66,702	81.5%	金
	横手市	95,800	83,268	86.9%	金
山形県	鶴岡市	133,005	75,865	57.0%	金
福島県	伊達市	63,682	32,393	50.9%	金
茨城県	行方市	37,236	18,733	50.3%	金
	常陸太田市	55,417	30,716	55.4%	金
栃木県	上三川町	31,361	26,961	86.0%	金
	芳賀町	16,065	6,455	40.2%	銀
埼玉県	小鹿野町	12,747	6,594	51.7%	銀
	秩父市	66,007	45,503	68.9%	金
千葉県	いすみ市	40,487	8,658	21.4%	銅
	昭島市	112,659	85,541	75.9%	金
東京都	小金井市	117,440	88,278	75.2%	金
	狛江市	79,027	14,499	18.3%	銅
	伊勢原市	100,913	49,421	49.0%	銀
神奈川県	大井町	17,350	8,033	46.3%	銀
	開成町	16,814	8,156	48.5%	銀

都道府県名	自治体名	人口	参加者数	参加率	メダル
神奈川県	寒川町	48,139	14,915	31.0%	銀
	座間市	128,918	39,822	30.9%	銀
	逗子市	60,081	24,587	40.9%	銀
	松田町	11,502	5,643	49.1%	銀
	真鶴町	7,865	4,971	63.2%	金
	山北町	11,370	5,368	47.2%	銀
富山県	湯河原町	26,387	9,022	34.2%	銀
	魚津市	43,519	20,575	47.3%	銀
山梨県	南砺市	53,722	26,635	49.6%	銀
	舟橋村	3,066	1,421	46.3%	銀
長野県	甲斐市	74,713	55,381	74.1%	金
	南部町	8,544	4,586	53.7%	銀
	飯綱町	11,854	4,462	37.6%	銀
岐阜県	喬木村	6,622	4,223	63.8%	金
	東御市	30,925	16,682	53.9%	金
愛知県	南相木村	1,098	1,031	93.9%	金
	土岐市	60,300	27,505	45.6%	銀
大阪府	羽島市	68,731	46,541	67.7%	金
	大治町	31,178	12,416	39.8%	銀
兵庫県	扶桑町	34,397	23,187	67.4%	金
	碧南市	71,793	57,222	79.7%	金
奈良県	柏原市	72,062	49,138	68.2%	金
	豊岡市	85,665	67,762	79.1%	金
和歌山県	養父市	25,498	10,215	40.1%	銀
	広陵町	34,823	9,526	27.4%	銅
島根県	上富田町	15,476	10,710	69.2%	金
	海士町	2,342	1,380	58.9%	銀
岡山県	雲南市	40,931	23,905	58.4%	金
	赤磐市	44,814	21,668	48.4%	銀
広島県	新庄村	972	1,005	103.4%	金
	北広島町	19,654	8,818	44.9%	銀
山口県	竹原市	27,719	15,775	56.9%	金
	三次市	55,230	20,690	37.5%	銀
徳島県	宇部市	170,425	54,080	31.7%	銀
	山口市	194,660	97,988	50.3%	金
香川県	鳴門市	60,698	30,295	49.9%	銀
	三好市	28,890	17,490	60.5%	金
高知県	多度津町	23,645	14,370	60.8%	金
	丸亀市	113,470	64,926	57.2%	金
福岡県	宿毛市	21,868	5,472	25.0%	銅
	大牟田市	120,666	81,569	67.6%	金
佐賀県	みやこ町	20,997	14,529	69.2%	金
	神埼市	32,532	19,929	61.3%	金
熊本県	大村市	94,382	61,931	65.6%	金
	あさぎり町	16,277	7,658	47.0%	銀
大分県	山江村	3,698	1,593	43.1%	銀
	山都町	16,524	6,547	39.6%	銀
	宇佐市	58,800	21,634	36.8%	銀
宮崎県	杵築市	30,944	10,280	33.2%	銀
	豊後大野市	38,561	19,738	51.2%	金
	豊後高田市	23,539	16,619	70.6%	金
鹿児島県	諸塚村	1,902	1,539	80.9%	金
	阿久根市	22,236	9,158	41.2%	銀
沖縄県	奄美市	45,224	20,973	46.4%	銀
	指宿市	42,570	20,354	47.8%	銀
鹿児島県	霧島市	127,658	103,050	80.7%	金
	南大隅町	8,169	4,672	57.2%	銀
	南さつま市	36,678	17,121	46.7%	銀
	和泊町	6,935	4,600	66.3%	金
	伊江村	4,728	1,771	37.5%	銅
石垣市	石垣市	48,938	23,238	47.5%	銀
	大宜味村	3,276	1,355	41.4%	銀
	豊見城市	61,716	9,384	15.2%	銅
南城市	南城市	42,271	19,305	45.7%	銀
	東村	1,887	1,244	65.9%	金

チャレンジデー 2015 対戦組合せ・結果表

【チャレンジデーメダル授与基準表】

カテゴリー	人口	金メダル	銀メダル	銅メダル
1	4,999 人以下	65% 以上	40% 以上 65% 未満	40% 未満
2	5,000 ~ 9,999 人	61% 以上	35% 以上 61% 未満	35% 未満
3	10,000 ~ 29,999 人	55% 以上	31% 以上 55% 未満	31% 未満
4	30,000 ~ 69,999 人	50% 以上	29% 以上 50% 未満	29% 未満
5	70,000 ~ 249,999 人	50% 以上	25% 以上 50% 未満	25% 未満
6	250,000 人以上	40% 以上	20% 以上 40% 未満	20% 未満

カテゴリー 1 (人口: 4,999 人以下)

北海道



愛別町

あいべつちょう

実施回数	5 回目
人口	3,098 人
参加者	1,923 人
参加率	62.1%

VS

富山県



舟橋村

ふなはしむら

実施回数	4 回目
人口	3,066 人
参加者	1,421 人
参加率	46.3%

北海道



苫前町

とままえちょう

実施回数	13 回目
人口	3,377 人
参加者	1,940 人
参加率	57.4%

VS

沖縄県



伊江村

いえそん

実施回数	初実施
人口	4,728 人
参加者	1,771 人
参加率	37.5%

青森県



新郷村

しんこうむら

実施回数	4 回目
人口	2,741 人
参加者	3,206 人
参加率	117.0%

VS

長野県



南相木村

みなみあいきむら

実施回数	3 回目
人口	1,098 人
参加者	1,031 人
参加率	93.9%

秋田県



大潟村

おおがたむら

実施回数	初実施
人口	3,284 人
参加者	1,430 人
参加率	43.5%

VS

熊本県



山江村

やまえむら

実施回数	3 回目
人口	3,698 人
参加者	1,593 人
参加率	43.1%

秋田県



上小阿仁村

かみこあにむら

実施回数	2 回目
人口	2,589 人
参加者	1,656 人
参加率	64.0%

VS

岡山県



新庄村

しんじょうそん

実施回数	10 回目
人口	972 人
参加者	1,005 人
参加率	103.4%

秋田県



東成瀬村

ひがしなるせむら

実施回数	8 回目
人口	2,698 人
参加者	2,567 人
参加率	95.1%

VS

沖縄県



東村

ひがしそん

実施回数	10 回目
人口	1,887 人
参加者	1,244 人
参加率	65.9%

秋田県



藤里町

ふじさとまち

実施回数	2 回目
人口	3,623 人
参加者	3,057 人
参加率	84.4%

VS

宮崎県



諸塚村

もろつかそん

実施回数	11 回目
人口	1,902 人
参加者	1,539 人
参加率	80.9%

島根県



海士町

あまちょう

実施回数	12 回目
人口	2,342 人
参加者	1,380 人
参加率	58.9%

VS

沖縄県







大宜味村



おおきみそん


実施回数	2 回目
人口	3,276 人
参加者	1,355 人
参加率	41.4%



カテゴリー 2 (人口 : 5,000 ~ 9,999 人)



北海道		岩手県		
標津町		葛巻町		
しべつちょう		くずまきまち		
実施回数	8 回目	VS	実施回数	21 回目
人口	5,417 人		人口	6,853 人
参加者	4,564 人		参加者	4,688 人
参加率	84.3%		参加率	68.4%



北海道		鹿児島県		
新得町		南大隅町		
しんとくちょう		みなみおおすみちょう		
実施回数	5 回目	VS	実施回数	初実施
人口	6,447 人		人口	8,169 人
参加者	4,109 人		参加者	4,672 人
参加率	63.7%		参加率	57.2%



北海道		秋田県		
鷹栖町		八峰町		
たかすちょう		はっほうちょう		
実施回数	4 回目	VS	実施回数	2 回目
人口	7,265 人		人口	7,878 人
参加者	4,617 人		参加者	5,188 人
参加率	63.6%		参加率	65.9%

北海道		秋田県		
本別町		小坂町		
ほんべつちょう		こさかまち		
実施回数	5 回目	VS	実施回数	5 回目
人口	7,706 人		人口	5,643 人
参加者	5,174 人		参加者	3,498 人
参加率	67.1%		参加率	62.0%



青森県		神奈川県		
田子町		真鶴町		
たっこまち		まなづるまち		
実施回数	3 回目	VS	実施回数	初実施
人口	6,143 人		人口	7,865 人
参加者	3,233 人		参加者	4,971 人
参加率	52.6%		参加率	63.2%



岩手県		山梨県		
軽米町		南部町		
かるまいまち		なんぶちょう		
実施回数	10 回目	VS	実施回数	3 回目
人口	9,955 人		人口	8,544 人
参加者	5,217 人		参加者	4,586 人
参加率	52.4%		参加率	53.7%



秋田県		長野県		
井川町		喬木村		
いかわまち		たかぎむら		
実施回数	5 回目	VS	実施回数	14 回目
人口	5,143 人		人口	6,622 人
参加者	4,215 人		参加者	4,223 人
参加率	82.0%		参加率	63.8%



秋田県		鹿児島県		
八郎潟町		和泊町		
はちろうがたまち		わどまりちょう		
実施回数	2 回目	VS	実施回数	12 回目
人口	6,324 人		人口	6,935 人
参加者	3,970 人		参加者	4,600 人
参加率	62.8%		参加率	66.3%



カテゴリー 3 (人口 : 10,000 ~ 29,999 人)



北海道		福岡県		
名寄市		みやこ町		
なよろし		みやこまち		
実施回数	22 回目	VS	実施回数	4 回目
人口	29,090 人		人口	20,997 人
参加者	17,681 人		参加者	14,529 人
参加率	60.8%		参加率	69.2%



北海道		和歌山県		
東神楽町		上富田町		
ひがしかぐらちょう		かみとんだちょう		
実施回数	4 回目	VS	実施回数	10 回目
人口	10,245 人		人口	15,476 人
参加者	5,284 人		参加者	10,710 人
参加率	51.6%		参加率	69.2%


北海道		埼玉県		
深川市		小鹿野町		
ふかがわし		おがのまち		
実施回数	9回目	VS	実施回数	10回目
人口	22,257人		人口	12,747人
参加者	12,551人		参加者	6,594人
参加率	56.4%		参加率	51.7%



北海道		神奈川県		
富良野市		大井町		
ふらのし		おおいまち		
実施回数	5回目	VS	実施回数	初実施
人口	23,278人		人口	17,350人
参加者	10,759人		参加者	8,033人
参加率	46.2%		参加率	46.3%



北海道		兵庫県		
幕別町		養父市		
まくべつちょう		やぶし		
実施回数	2回目	VS	実施回数	2回目
人口	27,649人		人口	25,498人
参加者	8,395人		参加者	10,215人
参加率	30.4%		参加率	40.1%



北海道		広島県		
芽室町		北広島町		
めむろちょう		きたひろしまちょう		
実施回数	7回目	VS	実施回数	3回目
人口	19,191人		人口	19,654人
参加者	12,338人		参加者	8,818人
参加率	64.3%		参加率	44.9%



青森県		神奈川県		
藤崎町		開成町		
ふじさきまち		かいせいまち		
実施回数	8回目	VS	実施回数	2回目
人口	15,596人		人口	16,814人
参加者	9,156人		参加者	8,156人
参加率	58.7%		参加率	48.5%



岩手県		神奈川県		
大槌町		山北町		
おおつちちょう		やまきたまち		
実施回数	10回目	VS	実施回数	初実施
人口	12,543人		人口	11,370人
参加者	6,653人		参加者	5,368人
参加率	53.0%		参加率	47.2%



岩手県		大分県		
陸前高田市		豊後高田市		
りくぜんたかたし		ぶんごたかたし		
実施回数	16回目	VS	実施回数	8回目
人口	20,366人		人口	23,539人
参加者	14,898人		参加者	16,619人
参加率	73.2%		参加率	70.6%



宮城県		香川県		
七ヶ浜町		多度津町		
しちがはままち		たどつちょう		
実施回数	7回目	VS	実施回数	17回目
人口	19,430人		人口	23,645人
参加者	10,850人		参加者	14,370人
参加率	55.8%		参加率	60.8%



秋田県		熊本県		
羽後町		山都町		
うごまち		やまとちょう		
実施回数	4回目	VS	実施回数	初実施
人口	16,353人		人口	16,524人
参加者	9,053人		参加者	6,547人
参加率	55.4%		参加率	39.6%



秋田県		神奈川県		
仙北市		松田町		
せんぼくし		まつだまち		
実施回数	5回目	VS	実施回数	2回目
人口	28,570人		人口	11,502人
参加者	14,607人		参加者	5,643人
参加率	51.1%		参加率	49.1%




秋田県		広島県		
にかほ市		竹原市		
にかほし		たけはらし		
実施回数	9回目	VS	実施回数	7回目
人口	26,405人		人口	27,719人
参加者	10,822人		参加者	15,775人
参加率	41.0%		参加率	56.9%

秋田県		徳島県		
美郷町		三好市		
みさとちょう		みよしし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	10回目
人口	20,909人		人口	28,890人
参加者	14,343人		参加者	17,490人
参加率	68.6%		参加率	60.5%



秋田県		長野県		
三種町		飯綱町		
みたねちょう		いづなまち		
実施回数	3回目	VS	実施回数	初実施
人口	18,134人		人口	11,854人
参加者	8,268人		参加者	4,462人
参加率	45.6%		参加率	37.6%



栃木県		鹿児島県		
芳賀町		阿久根市		
はがまち		あくねし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	6回目
人口	16,065人		人口	22,236人
参加者	6,455人		参加者	9,158人
参加率	40.2%		参加率	41.2%

神奈川県		高知県		
湯河原町		宿毛市		
ゆがわらまち		すくもし		
実施回数	2回目	VS	実施回数	5回目
人口	26,387人		人口	21,868人
参加者	9,022人		参加者	5,472人
参加率	34.2%		参加率	25.0%



北海道		秋田県		熊本県			
芦別市		五城目町		あさぎり町			
あしべつし		ごじょうめまち		あさぎりちょう			
実施回数	4回目	VS	実施回数	8回目	VS	実施回数	3回目
人口	15,370人		人口	10,182人		人口	16,277人
参加者	5,839人		参加者	5,735人		参加者	7,658人
参加率	38.0%		参加率	56.3%		参加率	47.0%



カテゴリー 4 (人口 : 30,000 ~ 69,999 人)



北海道		愛知県		
美唄市		大治町		
びばいし		おおはるちょう		
実施回数	初実施	VS	実施回数	初実施
人口	23,952人		人口	31,178人
参加者	9,412人		参加者	12,416人
参加率	39.3%		参加率	39.8%



秋田県		鹿児島県		
男鹿市		奄美市		
おがし		あまみし		
実施回数	4回目	VS	実施回数	7回目
人口	30,205人		人口	45,224人
参加者	15,858人		参加者	20,973人
参加率	52.5%		参加率	46.4%



※美唄市と大治町は友好都市対戦
 ※美唄市はカテゴリー 3



秋田県		佐賀県		
潟上市		神埼市		
かたがみし		かんざきし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	6回目
人口	33,899人		人口	32,532人
参加者	23,783人		参加者	19,929人
参加率	70.2%		参加率	61.3%



秋田県		島根県		
鹿角市		雲南市		
かづのし		うんなんし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	10回目
人口	33,243人		人口	40,931人
参加者	22,610人		参加者	23,905人
参加率	68.0%		参加率	58.4%



秋田県		大分県		
北秋田市		杵築市		
きたあきたし		きつきし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	初実施
人口	34,716人		人口	30,944人
参加者	20,381人		参加者	10,280人
参加率	58.7%		参加率	33.2%



秋田県		大分県		
能代市		宇佐市		
のしろし		うさし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	2回目
人口	56,966人		人口	58,800人
参加者	24,525人		参加者	21,634人
参加率	43.1%		参加率	36.8%



秋田県		鹿児島県		
湯沢市		南さつま市		
ゆざわし		みなみさつまし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	2回目
人口	48,890人		人口	36,678人
参加者	25,298人		参加者	17,121人
参加率	51.7%		参加率	46.7%

福島県		沖縄県		
伊達市		豊見城市		
だてし		とみぐすくし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	初実施
人口	63,682人		人口	61,716人
参加者	32,393人		参加者	9,384人
参加率	50.9%		参加率	15.2%

茨城県		富山県		
行方市		魚津市		
なめがたし		うおづし		
実施回数	6回目	VS	実施回数	4回目
人口	37,236人		人口	43,519人
参加者	18,733人		参加者	20,575人
参加率	50.3%		参加率	47.3%

茨城県		鹿児島県		
常陸太田市		指宿市		
ひたちおおたし		いぶすきし		
実施回数	7回目	VS	実施回数	3回目
人口	55,417人		人口	42,570人
参加者	30,716人		参加者	20,354人
参加率	55.4%		参加率	47.8%

栃木県		愛知県		
上三川町		扶桑町		
かみのかわまち		ふそうちょう		
実施回数	3回目	VS	実施回数	2回目
人口	31,361人		人口	34,397人
参加者	26,961人		参加者	23,187人
参加率	86.0%		参加率	67.4%

埼玉県		岐阜県		
秩父市		羽島市		
ちちぶし		はしまし		
実施回数	6回目	VS	実施回数	5回目
人口	66,007人		人口	68,731人
参加者	45,503人		参加者	46,541人
参加率	68.9%		参加率	67.7%

千葉県		岡山県	
いすみ市		赤磐市	
いすみし		あかいわし	
実施回数	初実施	実施回数	6 回目
人 口	40,487 人	人 口	44,814 人
参加者	8,658 人	参加者	21,668 人
参加率	21.4%	参加率	48.4%

神奈川県		富山県	
寒川町		南砺市	
さむかわまち		なんとし	
実施回数	初実施	実施回数	11 回目
人 口	48,139 人	人 口	53,722 人
参加者	14,915 人	参加者	26,635 人
参加率	31.0%	参加率	49.6%

神奈川県		広島県	
逗子市		三次市	
ずしし		みよしし	
実施回数	4 回目	実施回数	3 回目
人 口	60,081 人	人 口	55,230 人
参加者	24,587 人	参加者	20,690 人
参加率	40.9%	参加率	37.5%

長野県		奈良県	
東御市		広陵町	
とうみし		こうりょうちょう	
実施回数	2 回目	実施回数	初実施
人 口	30,925 人	人 口	34,823 人
参加者	16,682 人	参加者	9,526 人
参加率	53.9%	参加率	27.4%

岐阜県		徳島県	
土岐市		鳴門市	
ときし		なるとし	
実施回数	初実施	実施回数	6 回目
人 口	60,300 人	人 口	60,698 人
参加者	27,505 人	参加者	30,295 人
参加率	45.6%	参加率	49.9%



宮城県		大分県		沖縄県	
東松島市		豊後大野市		南城市	
ひがしまつしまし		ぶんごおおのし		なんじょうし	
実施回数	5 回目	実施回数	4 回目	実施回数	10 回目
人 口	40,204 人	人 口	38,561 人	人 口	42,271 人
参加者	18,204 人	参加者	19,738 人	参加者	19,305 人
参加率	45.3%	参加率	51.2%	参加率	45.7%



【 カテゴリー 5 (人口 : 70,000 ~ 249,999 人) 】

岩手県		山口県	
奥州市		宇部市	
おうしゅうし		うべし	
実施回数	7 回目	実施回数	初実施
人 口	122,366 人	人 口	170,425 人
参加者	83,647 人	参加者	54,080 人
参加率	68.4%	参加率	31.7%



岩手県		沖縄県	
北上市		石垣市	
きたかみし		いしがきし	
実施回数	4 回目	実施回数	2 回目
人 口	93,758 人	人 口	48,938 人
参加者	32,169 人	参加者	23,238 人
参加率	34.3%	参加率	47.5%



※北上市と石垣市は友好都市対戦
 ※石垣市はカテゴリー 4



秋田県		長崎県		
大館市		大村市		
おおだてし		おおむらし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	8回目
人口	76,660人		人口	94,382人
参加者	53,370人		参加者	61,931人
参加率	69.6%		参加率	65.6%



秋田県		神奈川県		
大仙市		座間市		
だいせんし		ざまし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	初実施
人口	86,546人		人口	128,918人
参加者	44,767人		参加者	39,822人
参加率	51.7%		参加率	30.9%



※大仙市と座間市は友好都市対戦



秋田県		香川県		
由利本荘市		丸亀市		
ゆりほんじょうし		まるがめし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	8回目
人口	81,866人		人口	113,470人
参加者	66,702人		参加者	64,926人
参加率	81.5%		参加率	57.2%



秋田県		福岡県		
横手市		大牟田市		
よこてし		おおむたし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	10回目
人口	95,800人		人口	120,666人
参加者	83,268人		参加者	81,569人
参加率	86.9%		参加率	67.6%

山形県		神奈川県		
鶴岡市		伊勢原市		
つるおかし		いせはらし		
実施回数	3回目	VS	実施回数	2回目
人口	133,005人		人口	100,913人
参加者	75,865人		参加者	49,421人
参加率	57.0%		参加率	49.0%



東京都		兵庫県		
昭島市		豊岡市		
あきしまし		とよおかし		
実施回数	4回目	VS	実施回数	6回目
人口	112,659人		人口	85,665人
参加者	85,541人		参加者	67,762人
参加率	75.9%		参加率	79.1%

東京都		鹿児島県		
小金井市		霧島市		
こがねいし		きりしまし		
実施回数	2回目	VS	実施回数	2回目
人口	117,440人		人口	127,658人
参加者	88,278人		参加者	103,050人
参加率	75.2%		参加率	80.7%

東京都		大阪府		
狛江市		柏原市		
こまえし		かしわらし		
実施回数	初実施	VS	実施回数	8回目
人口	79,027人		人口	72,062人
参加者	14,499人		参加者	49,138人
参加率	18.3%		参加率	68.2%

山梨県		愛知県		
甲斐市		碧南市		
かいし		へきなんし		
実施回数	6回目	VS	実施回数	5回目
人口	74,713人		人口	71,793人
参加者	55,381人		参加者	57,222人
参加率	74.1%		参加率	79.7%

【カテゴリー 6 (人口 : 250,000 人以上)

秋田県		山口県		
秋田市		山口市		
あきたし		やまぐちし		
実施回数	初実施	VS	実施回数	3回目
人口	318,826人		人口	194,660人
参加者	69,237人		参加者	97,988人
参加率	21.7%		参加率	50.3%

※山口市はカテゴリー 5

ワールドチャレンジデー (World Challenge Day)

カテゴリー 1

鹿児島県 南大隅町 みなみおおすみちょう	VS	スロバキア ノヴァ・ドゥブニツァ Nová Dubnica
人口 8,169 人		人口 11,260 人
参加者 4,672 人		参加者 2,162 人
参加率 57.2%		参加率 19.3%

カテゴリー 2

大分県 豊後大野市 ぶんごおおのし	VS	クロアチア シサク Sisak
人口 38,561 人		人口 37,500 人
参加者 19,738 人		参加者 12,200 人
参加率 51.2%		参加率 33%

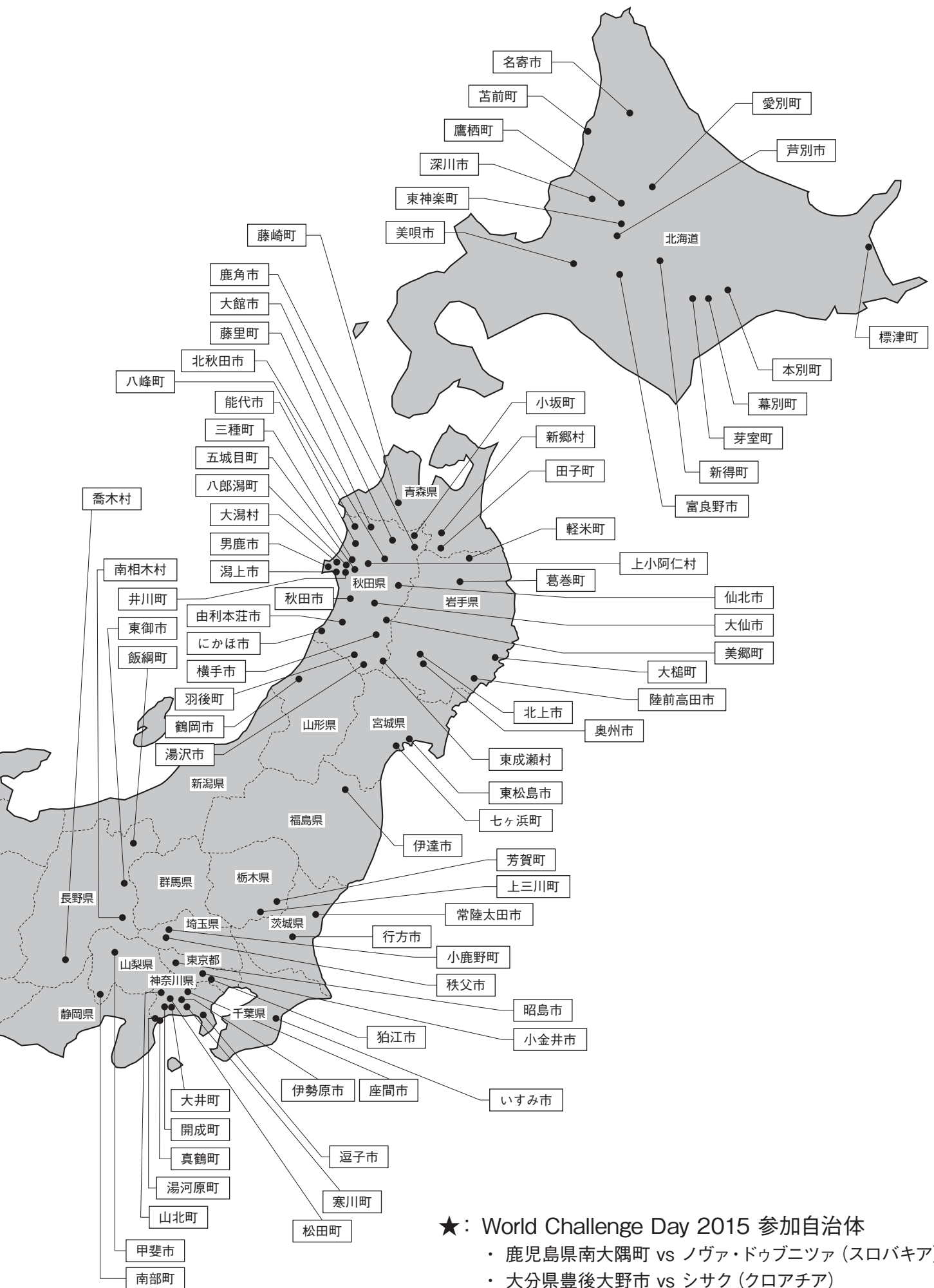
チャレンジデーには、国内対戦以外に、海外の自治体と対戦する「ワールドチャレンジデー」があり、現在、世界の多くの国々が「ワールドチャレンジデー」に参加し、国境を越えたさまざまな交流が行われています。

ワールドチャレンジデーでは、人口規模がほぼ同じで異なる国の自治体間で対戦する One-On-One Competition が行われ、人口規模に応じたカテゴリー別に、最も参加率が高い自治体に World Challenge Day Cup が贈られます。チャレンジデー 2015 では、わが国から 鹿児島県南大隅町と大分県豊後大野市が参加しました。



[実施概要]

- 実施日時 5月の最終水曜日、午前0時～午後9時
- ルール チャレンジデーと同様
- コーディネーター TAFISA (国際スポーツ・フォー・オール協議会 本部：ドイツ)
- 対戦組合せ方法 TAFISA による募集・抽選
- 日本の連絡窓口 笹川スポーツ財団
- 参加率の発表 TAFISA からの公式発表
- 後援 UNESCO (国連教育科学文化機関)



チャレンジデー大使参加レポート

オリンピックやアスリートなどが「チャレンジデー大使」として、各自治体に赴き、参加者との交流を深めました。

小野 喬さん

訪問先：秋田県能代市・八峰町
藤里町・三種町

体操競技で1952年ヘルシンキ五輪、1956年メルボルン五輪、1960年ローマ五輪、1964年東京五輪に出場
計13個（金5・銀4・銅4）のメダルを獲得
一般財団法人日本マレットゴルフ協会 代表理事
公益財団法人日本スポーツクラブ協会 相談役
能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」名誉館長

体操



八峰町でゲートボール後に記念撮影

長崎 宏子さん

訪問先：秋田県秋田市・にかほ市
由利本荘市

1894年ロサンゼルス五輪、1988年ソウル五輪（1988）
水泳・平泳ぎに出場
ゲンキなアトリエ取締役
秋田県立総合プール名誉館長
公益財団法人笹川スポーツ財団 評議員

水泳



由利本荘でウォーキングに参加

伊藤 護さん

訪問先：秋田県井川町・男鹿市
上小阿仁村・五城目町

プロスポーツ昭和50年会（※1）
秋田工業高校から専修大学に進む
社会人ラグビーでは強豪東芝ブレイブ・ループスで活躍
2008年引退
元ラグビー日本代表（16キャップ）
現在は國學院大学ラグビー部監督

ラグビー



井川町で小学生とランニング

真木 将樹さん

訪問先：山口県宇部市

プロスポーツ昭和50年会（※1）
投手（左投）
東筑紫学園から法政大学、1997年ドラフト1位で大阪近鉄
2001年途中から2002年まで読売ジャイアンツ
2004年引退
通算11勝14敗
現在はモノ作りを主とする会社（アルク有限会社）を経営

野球



宇部市での少年野球教室

福留 宏紀さん

訪問先：神奈川県寒川町・座間市

プロスポーツ昭和50年会（※1）
内野手
享栄高校、1993年ドラフト4位でオリックス
2005年引退
通算打率182 HR6本
現在はさいたま市でバッティングドームの塾長&店長

野球



寒川町で中学生野球部員と

茂木 優さん

訪問先：秋田県羽後町・東成瀬村
湯沢市・横手市

1974年、1975年全日本選手権を連覇
1976年モントリオール五輪に出場
秋田県内チャレンジデー大使（※2）

レスリング



羽後町で役場職員課所別対抗玉入競技大会に参加

利部 陽子さん

訪問先：秋田県仙北市・大仙市
美郷町

1984年ロサンゼルス五輪銅メダル
秋田県内チャレンジデー大使（※2）

バレーボール



美郷町の水中運動教室で参加者と

石垣 寿美子さん

訪問先：秋田県大館市・鹿角市
北秋田市・小坂町

第93回（2015年）全日本スキー選手権大会
女子1.2km スプリント 第1位
女子10km フリー 第3位
秋田県内チャレンジデー大使（※2）

スキー



北秋田市でグラウンド・ゴルフ大会後に参加者と記念撮影

- （※1）「プロスポーツ昭和50年会」とは昭和50（1975）年生まれのプロ野球選手により、2004年に発足した親睦団体で、その後、プロ野球界だけに留まらず、全プロスポーツ界で活躍するアスリートによるスポーツを中心とした社会貢献を目指し活動しています。
2010年に笹川スポーツ財団と協力プログラム合意し、昨年に引き続き、伊藤 護氏と真木将樹氏、福留宏紀氏の3名がチャレンジデーに参加しました。
- （※2）秋田県内チャレンジデー大使：秋田県内在住のオリンピック、アスリートにご協力をいただき、県内の各市町村にチャレンジデー大使としてご訪問いただきました。

各自治体によるアスリート・著名人参加レポート

各自治体では、地元出身で各方面で活躍するアスリート・著名人や、地元プロチームなどが参加しました。

ヴァンラーレ八戸 FC

サッカー JFL リーグ



【訪問先】
青森県新郷村
バブルサッカー体験

【訪問先】
青森県田子町
サッカー教室

浅利 純子さん

元マラソン選手／秋田県鹿角市出身／1993年世界陸上選手権金メダル／
1996年アトランタ五輪出場



【訪問先】
秋田県三種町
浅利純子さんと
クアオルトウォーキング
を楽しもう

稲垣 早織さん

元新体操選手／2008年北京五輪出場／元NHKラジオ・テレビ体操アシスタント



【訪問先】
秋田県三種町
ラジオ体操講習会

秋田ノーザンハピネッツ

バスケットボール bj リーグ



【訪問先】
秋田県三種町
琴丘小学校訪問・交流

ブラウブリッツ秋田

サッカー J3 リーグ

斎藤純平選手、新里彰平選手、峯勇斗選手、牧内慶太選手、船川琢之介選手、フロントスタッフ全員



【訪問先】
秋田県秋田市
みんなでラジオ体操

島川俊郎選手、松本拓也選手



【訪問先】
秋田県秋田市
キッズフットボールパーク
@ チャレンジデー

(※)

半田武嗣選手、佐藤博志主務



【訪問先】
秋田県男鹿市
ブラウブリッツ秋田
サッカー教室

(※)

浅井俊光選手、アグスティンオルテガ選手



【訪問先】
秋田県にかほ市
ブラウブリッツ秋田の選手と色んなスポーツに挑戦しよう！

(※)

熊谷達也選手、柿本健太選手、米澤令衣選手



【訪問先】
秋田県美郷町
ブラウブリッツ秋田
ふれあいチャレンジデー

(※)

松田正俊ヘッドコーチ、江崎一仁選手、平井晋太郎選手



【訪問先】
秋田県由利本荘市
ブラウブリッツ秋田
サッカー教室

(※)

(※) 写真提供：ブラウブリッツ秋田 <http://blaublitz.jp/event/34576.html>

高橋 勇市さん

マラソン選手／秋田県横手市出身／2004年アテネパラリンピック金メダル・2008年北京パラリンピック・2012年ロンドンパラリンピック出場



【訪問先】
秋田県横手市
チャレンジランニングに参加

寺本 進さん・青木沙和さん

セバタクロー日本代表／2014年アジア大会（韓国仁川）第3位



【訪問先】
東京都小金井市
セバタクロー体験会

具志堅 幸司さん

元体操選手／日本体育大学教授／1981年ロサンゼルス五輪金メダル



【訪問先】
長野県東御市
チャレンジデー記念講演

バンビシャス奈良

バスケットボール bj リーグ



【訪問先】
奈良県広陵町
バスケットボール
体験教室

岡山シーガルズ

バレーボール女子V・プレミアリーグ



【訪問先】
岡山県赤磐市
岡山シーガルズ
ストレッチ教室

【訪問先】
岡山県新庄村
岡山シーガルズ
バレー教室

徳島インディゴソックス

四国アイランドリーグ plus



【訪問先】
徳島県鳴門市
朝のラジオ体操、
フィナーレの妖怪体操

里崎 智也さん

元千葉ロッテマリーンズ捕手 / 2006年第1回WBC優勝 / 2005年・2010年日本シリーズ優勝



【訪問先】
徳島県鳴門市
野球教室

V・ファーレン長崎

サッカーJ2リーグ



【訪問先】
長崎県大村市
V・ファーレン長崎
サッカー教室

熊本ヴォルターズ

バスケットボールNBL



【訪問先】
熊本県あさぎり町
チャレンジデーバスケット
ボール教室

EXILE ÜSAさん / EXILE TETSUYAさん

パフォーマー



【訪問先】
大分県宇佐市
EX ダンス体操で
イエー！！

バサジィー大分

フットサルFリーグ

青柳佳祐選手、山口敬太選手、西原信彦選手、田辺陸選手



【訪問先】
大分県豊後大野市
清川小学校での交流

大分・愛媛ヒートデビルズ

バスケットボールbjリーグ

大城弘樹選手・奥本友人選手



【訪問先】
大分県豊後大野市
新田小学校での交流

川崎憲次郎さん / 駒田徳広さん

【川崎さん】元ヤクルトスワローズ・中日ドラゴンズ投手 / 1993年日本シリーズ優勝・最高殊勲選手賞 / 1998年沢村賞

【駒田さん】元読売ジャイアンツ・横浜ベイスターズ内野手・外野手 / 1989年日本シリーズ優勝・最高殊勲選手賞 / 1998年日本シリーズ優勝



【訪問先】
大分県豊後高田市
野球教室

FC琉球

サッカーJ3リーグ

田中賢治選手、前田晃一選手、西田翼選手、川里光太郎選手、松田悠佑選手、金城クリス達樹選手



【訪問先】
沖縄県南城市
サッカー教室

自治体マスコット・オリジナルキャラクターによるPR



あったかす君
(北海道鷹栖町)



ヴァン太/さとちゃん (左から)
(青森県新郷村)



たっこ王子
(青森県田子町)



ふじ丸君/ジャン坊くん (左から)
(青森県藤崎町)



わんこきょうだい おもっち
(岩手県奥州市)



ミルンちゃん/わんこきょうだい うにっち (左から)
(岩手県葛巻町)



イート&イーナ
(宮城県東松島市)



わんこきょうだい とふっち
(岩手県北上市)



スポまる
(秋田県秋田市)



いのっぴ
(秋田県鹿角市)



ニャンパチ
(秋田県八郎潟町)



やきっぴ
(秋田県横手市)



かみたん
(栃木県上三川町)



あじさいちゃん
(神奈川県開成町)

実施自治体のマスコットや県のPRキャラクター、その他オリジナルキャラクターが数多く参加しチャレンジデーを盛り上げました。



キングベルI世/さむかわ棒コロ (神奈川県寒川町)



ざまりん (神奈川県座間市) まるひちゃん (秋田県大仙市) クルリン (神奈川県座間市)



ゆがわら戦隊ゆたぼんファイブ (神奈川県湯河原町)



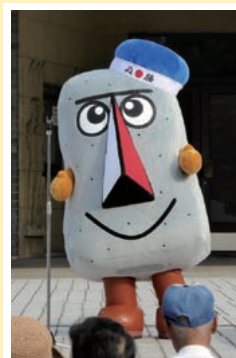
きとくと君/ナントマン (左から) (富山県南砺市)



ミナモ (岐阜県土岐市)



玄さん (兵庫県豊岡市)



チョコクン (山口県宇部市)



花田舞太郎 (広島県北広島町)



マイナちゃん/センサスくん/おごりん/ヤマミ/ちよるる/ゆうた (左から) (山口県山口市)



うずひめちゃん・うしおくん (左から) (徳島県鳴門市)



きたゾー (広島県北広島町)



とり奉行骨付じゅうじゅう (香川県丸亀市)



おむらんちゃん (長崎県大村市)



きつみん (大分県杵築市)



なんじ (沖縄県南城市)

チャレンジデー実施自治体へのサポート

●資金面でのサポート

笹川スポーツ財団では、チャレンジデーの実施に必要な経費の一部をサポートしました。

(助成金は人口カテゴリーにより金額が異なります。)

[助成対象経費]

- 【人件費】 医師・看護師・講師・指導員の謝金 等
- 【交通費】 講師等の旅費、メダル認定証授与式出席旅費 (1名分)
- 【宿泊費】 講師等の宿泊代、メダル認定証授与式の宿泊代 (1名分)
- 【会場費】 会場使用料、会場設営費 等
- 【消耗品費】 事務用品代、弁当代 等
- 【印刷費】 ポスター、チラシの印刷、コピー代 等
- 【製作費】 Tシャツ、看板、トロフィー等の製作費 等
- 【広報費】 新聞・雑誌等広告掲載費、テレビ・ラジオCM費 等
- 【通信運搬費】 用具・器具などの運搬費、臨時電話・FAX通信料 等
- 【賃借料】 物品の借上げ代、電話・FAXの借上げ代、レンタカー代 等
- 【保険料】 スポーツ傷害保険 等

●イベントグッズの提供

笹川スポーツ財団では、チャレンジデーの周知に必要な各種グッズを提供しました。

①ポスター (B2サイズ、4色)

※ 配布枚数はカテゴリーに応じる。

- カテゴリー1 100枚
- カテゴリー2 150枚
- カテゴリー3 200枚
- カテゴリー4 250枚
- カテゴリー5 300枚
- カテゴリー6 350枚



②Tシャツ (サイズ：S・M・L・XL)

- ※ 各自治体へ カテゴリー1～3：40枚
- カテゴリー4、5：50枚
- カテゴリー6：70枚



表面



裏面

③横断幕 (1m×5m：3色)

※ 初実施自治体のみ1枚提供



●**担当者への情報提供**

チャレンジデー実施に関する確認・連絡事項等について定期的にメールニュースを送信し情報の共有を図りました。

●**チャレンジデー 2015 の PR**

チャレンジデーを盛り上げ、より一層多くの方々に周知するため、全国の報道機関各社（新聞・テレビ・ラジオほか）へリリースを発信するなど、積極的に広報しました。

●**参加率速報の提供**

開催当日に全実施自治体の参加率状況を一定時ごと（1回目：午後1時30分、2回目：午後5時30分、3回目：午後11時）に取りまとめ、実施自治体をはじめ全国の報道機関各社に参加率速報としてリリースしました。

●**メダル認定証の授与**

実施自治体の健闘を称え、参加率に応じて金・銀・銅のメダル認定証を授与しました。

※メダル授与の基準は「人口」と「参加率」によって決定します。

チャレンジデーメダル授与基準表

カテゴリー	人口	金メダル	銀メダル	銅メダル
1	4,999人以下	65%以上	40%以上 65%未満	40%未満
2	5,000～9,999人	61%以上	35%以上 61%未満	35%未満
3	10,000～29,999人	55%以上	31%以上 55%未満	31%未満
4	30,000～69,999人	50%以上	29%以上 50%未満	29%未満
5	70,000～249,999人	50%以上	25%以上 50%未満	25%未満
6	250,000人以上	40%以上	20%以上 40%未満	20%未満



メダル認定証

(26cm×20cm：アクリル製)

チャレンジデー 2015 アワード

🕒 チャレンジデー大賞

最も参加率の高かった自治体に贈られる賞

青森県 新郷村
117.0%



🕒 新人賞

最も参加率の高かった初実施の自治体に贈られる賞

神奈川県 真鶴町
63.2%



🕒 参加率アップ賞

昨年と比較して、最も参加率の上があった自治体に贈られる賞

東京都 小金井市
49.3 ポイントアップ

2014年 25.9% → 2015年 75.2%



🕒 ベストPR賞

報道機関から取り上げられた件数が最も多かった自治体に贈られる賞

山口県 山口市
40 件

積極的なPR活動の結果、地方紙をはじめとする新聞、テレビニュースなど、合計40件の報道実績がありました。



🕒 広報アイデア賞

チャレンジデーを広く周知するために、ユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる賞

岐阜県 羽島市

【受賞理由】

オリジナルの映像を作成してPRを図るとともに、DVDを市内の保育園・幼稚園、小中高校に配布し、放課後や休み時間、ホームルームで放映することで、全ての園児、小中高校生の参加につながり、参加率が向上しました。



また、小中学生の手書きによる応援メッセージの入ったポスターを掲示し、市民へ参加を呼びかけるなど広くチャレンジデーを周知しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=lbaP8rn67VY>

🕒 笹川スポーツ財団特別賞

チャレンジデーの普及促進に貢献し、住民のスポーツ参加を積極的に推進した団体に贈られる賞

秋田県

【受賞理由】

『スポーツ立県あきた』をスローガンに、スポーツを秋田の活力と発展のシンボルと位置付け、史上初の県内全市町村でのチャレンジデーを実現しました。



決起大会集合写真

🕒 カテゴリー優秀賞

同カテゴリー内で参加率が最も高かった自治体に贈られる賞

カテゴリー1	青森県 新郷村	117.0%
カテゴリー2	北海道 標津町	84.3%
カテゴリー3	岩手県 陸前高田市	73.2%
カテゴリー4	栃木県 上三川町	86.0%
カテゴリー5	秋田県 横手市	86.9%
カテゴリー6	秋田県 秋田市	21.7%

全国共通イベント

全国のチャレンジデー参加者同士の交流を実現し、さらには、チャレンジデーをよりいっそう盛り上げることを目的とし、各実施自治体が共通のルールにより参加できる全国共通イベントを行いました。

【実施種目】 ロープ・ジャンプ・X、ロープ・ジャンプ・EX、スポーツごみ拾い、空き缶積み上げ

【参加自治体、チーム数】

ロープ・ジャンプ・X：20自治体 929チーム

ロープ・ジャンプ・EX：5自治体 69チーム

スポーツごみ拾い：9自治体 165チーム

空き缶積み上げ：11自治体 116チーム

全国共通イベント結果一覧

■ロープ・ジャンプ・X

順位	人数	回数	ポイント	チーム名	都道府県	自治体名	実施場所
1	7	551	3,857	加茂中学校 3-2A	島根県	雲南市	加茂中学校体育館
2	9	308	2,772	加茂中学校 3-1A	島根県	雲南市	加茂中学校体育館
3	7	351	2,457	加茂中学校 3-1B	島根県	雲南市	加茂中学校体育館
4	5	483	2,415	加茂中学校 2-2A	島根県	雲南市	加茂中学校体育館
5	4	597	2,388	海潮中学校ベテランX	島根県	雲南市	海潮中学校体育館



■ロープ・ジャンプ・EX

順位	人数	回数	入替	ポイント	チーム名	都道府県	自治体名	実施場所
1	10	153	152	3,050	八重東スネークファイターズ	広島県	北広島町	八重東小学校
2	10	153	151	3,040	アストれ総合型クラブA	山梨県	甲斐市	玉幡体育館
3	10	114	112	2,260	アストれ総合型クラブB	山梨県	甲斐市	玉幡体育館



■スポーツごみ拾い

順位	ポイント合計	チーム名	都道府県	自治体名
1	6,072.5	江本なかよし5人組	兵庫県	豊岡市
2	4,515	笠沙恵比寿Aチーム	鹿児島県	南さつま市
3	4,375	笠沙恵比寿Bチーム	鹿児島県	南さつま市



■空き缶積み上げ

順位	記録	チーム名	都道府県	自治体名
1	3m 98cm 4mm	川小男子	秋田県	湯沢市
2	3m 73cm 0mm	スポーツ大好き	秋田県	湯沢市
3	3m 68cm 6mm	川小6	秋田県	湯沢市
	3m 68cm 6mm	メガネ軍	秋田県	湯沢市



※各種目のルールなどは、SSFのホームページをご覧ください。

秋田県全 25 市町村チャレンジデー実施

1. スポーツ立県あきたの実現に向けて

『スポーツ立県あきた』を宣言する秋田県では、スポーツを秋田の活力と発展のシンボルと位置付け、史上初めての県内全 25 市町村によるチャレンジデーの開催が実現した。

1993 年に日本で最初のチャレンジデーが行われてから 2015 年で 23 回、県内全市町村でのチャレンジデーの実施は今年の秋田県が初めて。

2. 全市町村実施までの道のり（1995 年～ 2015 年）

- ・ 秋田県内でのチャレンジデー実施は 1995 年の琴丘町（現・三種町）から始まった。
- ・ その後、2002 年に金浦町（現・にかほ市）、2007 年には合併後のにかほ市での開催となった。
- ・ 2005 年頃から平成の大合併が始まり、自治体が広域化したことによる「旧町村地区」や、総合型地域スポーツクラブによる「地域」でのチャレンジデーも並行して行われ、2008 年から実施数も増えていった。（表 1 参照）
- ・ 2013 年から本来のチャレンジデールールに戻り、自治体での実施のみとなる。この年、秋田県からは 19 市町村が実施、史上初の県内全市町村でのチャレンジデー開催の機運が高まる。
- ・ 2014 年には 23 市町村が実施、2015 年に県内最大人口の秋田市と村制 51 周年を迎えた大湯村が実施し、史上初の県内全市町村によるチャレンジデーが秋田県で開催された。

表 1 秋田県チャレンジデー実施推移表

年	1995～2001	2002～2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
市町村	1	2	0	1	3	3	3	6	8	19	23	25
地域	—	—	2	1	1	2	6	6	10	—	—	—
計	1	2	2	2	4	5	9	12	18	19	23	25
初実施 (市町村)	琴丘町	金浦町		にかほ市	五城目町 東成瀬村			井川町 小坂町 仙北市	羽後町 男鹿市	大館市／湯上市 鹿角市／北秋田市 大仙市／能代市 美郷町／三種町 湯沢市／由利本荘市 横手市	上小阿仁村 八郎潟町 八峰町 藤里町	秋田市 大湯村

チャレンジデー 2015 秋田県の結果

- ・ 人 口：1,055,352 人
- ・ 参加者数：538,208 人
- ・ 参 加 率：51.0%
- ・ 勝 敗：20 勝 5 敗
- ・ メダル数：金 18・銀 7
- ・ 最高参加率：95.1% 東成瀬村

●チャレンジデー 2015 あきた 1 ヶ月前集会（秋田県体育協会主催）

秋田県内の市町村へのチャレンジデー実施の推進役を担ってきた公益財団法人秋田県体育協会（以下、秋田県体協）が、チャレンジデー 1 ヶ月前の 4 月 27 日に集会を実施した。

集会では、各市町村体育協会の代表者による意気込みやチャレンジデーへの想いが語られ、秋田県体協の小笠原直樹副会長により「チャレンジデー 2015 あきた宣言」が、読み上げられた。

笹川スポーツ財団からは小野清子理事長と渡邊一利専務理事が出席し、共にチャレンジデーの成功と県民の健康づくりを願って挨拶を行った。



小笠原直樹秋田県体育協会副会長による「チャレンジデー 2015 あきた宣言」



秋田県内の全市町村体育協会代表者が集合

●チャレンジデー 2015 あきた決起集会

チャレンジデー 2015 前日の5月26日に秋田県市町村会館で決起集会が実施された。

会場には秋田県の佐竹敬久知事を筆頭に、県内全市町村長が一堂に集まり、チャレンジデー史上初めての「県内全市町村チャレンジデー」での健闘を誓い合った。

笹川スポーツ財団からは小野清子理事長が出席、出身県でもある秋田への想いと、チャレンジデーの成功を願って挨拶を行った。

最後に、秋田県体協の鈴木洋一会長から「チャレンジデー 2015 あきた宣言」の発表があり、全員で気合の入ったガッツポーズをするなど、たいへん盛り上がった決起集会となった。



前列左から鈴木洋一氏(秋田県体育協会会長)、佐竹敬久氏(秋田県知事)、小野清子(笹川スポーツ財団理事長)、長崎宏子氏(チャレンジデー大使)、伊藤護氏(チャレンジデー大使)の面々



全員でガッツポーズ！！

チャレンジデー「今年も金メダルを」

秋田県市町村会館で5月26日(土)に開催された「チャレンジデー2015 あきた決起集会」の様子が、27日(日)の朝刊に掲載された。

佐竹知事を筆頭に、県内全市町村長が一堂に集まり、チャレンジデー史上初めての「県内全市町村チャレンジデー」での健闘を誓い合った。

笹川スポーツ財団からは小野清子理事長が出席、出身県でもある秋田への想いと、チャレンジデーの成功を願って挨拶を行った。

最後に、秋田県体協の鈴木洋一会長から「チャレンジデー 2015 あきた宣言」の発表があり、全員で気合の入ったガッツポーズをするなど、たいへん盛り上がった決起集会となった。

2015年5月5日 火曜日 北鹿新聞

チャレンジデーまで1週間

住民参加へ工夫多彩

イベント企画、独自の運動発案…

秋田県市町村会館で5月26日(土)に開催された「チャレンジデー2015 あきた決起集会」の様子が、27日(日)の朝刊に掲載された。

佐竹知事を筆頭に、県内全市町村長が一堂に集まり、チャレンジデー史上初めての「県内全市町村チャレンジデー」での健闘を誓い合った。

笹川スポーツ財団からは小野清子理事長が出席、出身県でもある秋田への想いと、チャレンジデーの成功を願って挨拶を行った。

最後に、秋田県体協の鈴木洋一会長から「チャレンジデー 2015 あきた宣言」の発表があり、全員で気合の入ったガッツポーズをするなど、たいへん盛り上がった決起集会となった。

2015年5月20日 水曜日 秋田魁新報

チャレンジデー爽快な汗

老若男女体動かし 能代山本4市町参戦

「チャレンジデー」に合わせて生き生きと体を動かす市民ら(市総合体育館で)

秋田県市町村会館で5月26日(土)に開催された「チャレンジデー2015 あきた決起集会」の様子が、27日(日)の朝刊に掲載された。

佐竹知事を筆頭に、県内全市町村長が一堂に集まり、チャレンジデー史上初めての「県内全市町村チャレンジデー」での健闘を誓い合った。

笹川スポーツ財団からは小野清子理事長が出席、出身県でもある秋田への想いと、チャレンジデーの成功を願って挨拶を行った。

最後に、秋田県体協の鈴木洋一会長から「チャレンジデー 2015 あきた宣言」の発表があり、全員で気合の入ったガッツポーズをするなど、たいへん盛り上がった決起集会となった。

2015年5月28日 木曜日 北羽新報

北海道愛別町・鷹栖町・東神楽町「B&G 秋のチャレンジデー」

1. 実施の経緯

北海道上川管内中央部3町（愛別町、鷹栖町、東神楽町）では、健康づくりのシンボル事業として毎年「チャレンジデー」に取り組んでいるが、開催日が農繁期と重なるため、農家の方が参加しにくいという課題があった。

そこで同じ課題を持つ近郊の3町が、農作業がひと段落する秋季に「チャレンジデー」を独自開催することで、スポーツに親しみ健康づくりにつなげてもらうことを目的に2014年10月13日（月・祝日：体育の日）に初めて開催。

2. 名称

スポーツ活動の拠点としてこの3町の全てにB&G 海洋センターがあり、秋のチャレンジデー当日のメイン会場にもなっており、本部の公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（以下B&G 財団）からの協力・支援もあって実施に至ったことから「B&G 秋のチャレンジデー」との名称となった。

3. ルール

通常のチャレンジデールール（続けて15分以上の運動・スポーツを実施）を適用、ただし、勝敗による旗の掲揚はなし。対象の人口は2014年8月1日現在の住民基本台帳による。

4. 結果（2014年）

優勝：鷹栖町

参加率：34.1%

（人口：7,231人）
（参加者数：2,470人）

2位：愛別町

参加率：30.2%

（人口：3,187人）
（参加者数：946人）

3位：東神楽町

参加率：12.0%

（人口：10,153人）
（参加者数：1,218人）

5. 今後の予定

2015年は10月12日（月・祝日：体育の日）に開催を予定している。

今後は、周辺自治体にも声をかけて実施を増やしていきたい意向。

B&G 秋のチャレンジデー

すべて無料で参加いただけます！10月13日（体育の日）限りのお楽しみイベント満載！

第1回鷹栖町アロアカーリング交流大会

誰でも簡単に楽しめます。ご家族やご友人と一緒に、ニュースポーツを楽しみましょう！※事前申込をお願いします。

【時 間】13:30～（開会式）
【場 所】総合体育館
【チーム編成】1チーム4～6名
【持ち物】飲み物、汗拭きタオル、上靴

豪華賞品！

第1回鷹栖町鬼ごっこNo.1決定戦

昔から人気の遊び鬼ごっこ！ルールは簡単多くの宝を取ったチームの勝ち！即代戦ごっこNo.1チームは誰か…
※事前申込をお願いします。

【時 間】9:30～（開会式）
【場 所】B&G 海洋センター
【チーム編成】1チーム6～8名
【持ち物】飲み物、汗拭きタオル、上靴

B&G 秋のチャレンジデー 限定参加賞（3町ゆるキャラを印刷したクリアファイル）が当たる

○空き缶積み上げ
1チーム3～4名編成 10分間で300ml・500ml缶をビニッド型（加と加の型）に缶を積み上げる高さを行います。

○力自慢No.1決定戦（握力測定）
右左交互に2回ずつ実施。左右の手の握力の記録を平均し競います。

○短縄跳び選手権
3分間の前倒し一回跳び（一回跳1跳躍）が成功した回数を行います。得点失敗してもOK！
なわとびの縄はごらんで準備します。（持参の縄でもOK！）

●レクリエーション吹き矢（鷹栖町単独種目）
手軽な健康レクリエーション！鷹栖町町上陸！
※共通事項 上靴を持参ください。

【時 間】15:00～20:30（随時受付、実施いたします）
【場 所】総合体育館 ※事前申込み不要、直接会場にお越しください。

3町共通イベント

各種目1位には豪華賞品！

総合体育館・B&G 海洋センター

9:00～21:00まで、終日無料でご利用いただけます。
詳細は以下の予定表のとおりです。

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
種目A	B&G 秋のチャレンジデー記念鷹栖町老人会軽スポーツ体験教室		無料一般開放	アロアカーリング交流大会	無料一般開放							
種目B	鬼ごっこNo.1決定戦		3町のナンバー1決定戦！ 空き缶積み上げ、なわとび、握力、吹き矢（鷹栖町単独種目）									
種目C	無料一般開放											

※無料一般開放は、司内各階わずご利用いただけます。気軽にお願いします。上靴は持参ください。参加料はかかりません。

サンホールはびねす

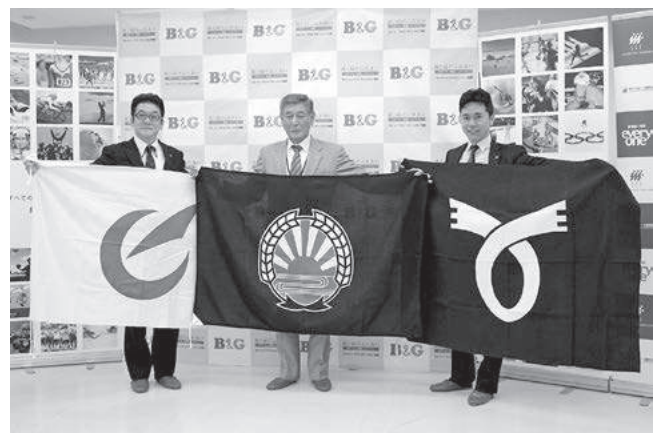
＜浴定、プールの無料開放（10:00～21:00）＞ 司内各階わず無料でご利用いただけます。受付でチャレンジデー参加報告にご協力ください。健康づくりに活用ください。当日は、浴衣、貴重も通常営業（有料）いたします。

B&G 秋のチャレンジデーに参加、報告いただいた方の中から抽選で、対戦相手の東神楽町町長賞品をプレゼント予定！（当日抽選のため抽選と連絡先を明記した方に限らせていただきます）
※事前申込みが必要なイベントは10/2028まで。

イベントチラシ（鷹栖町）



前日は3町長による記念の鼎談が行われました



左から、山本進氏（東神楽町長）、前佛秀幸氏（愛別町長）、谷 寿男氏（鷹栖町長）

新郷村(チャレンジデー大賞)のチャレンジデーでの取り組み

新郷村(青森県)は4回のチャレンジデー実施のうち、最高参加率の自治体に贈られるチャレンジデー大賞を3回受賞するなど、常に高い参加率を残しています。

1. 参加者の推移

①参加率の推移

	参加率 (%)	参加者数 (人)	人口 (人)	アワード
2012年	92.8	2,749	2,961	チャレンジデー大賞
2013年	95.9	2,754	2,872	チャレンジデー大賞
2014年	101.2	2,850	2,817	—
2015年	117.0	3,206	2,741	チャレンジデー大賞

②村内外の参加者数

単位 (人)

	村内参加者数	村外参加者数	総参加者数
2012年	1,979	770	2,749
2013年	2,146	608	2,754
2014年	1,910	940	2,850
2015年	2,289	917	3,206

2. 参加率100%を超えるための取り組み

①村内全住民の参加を促進：「しっかり周知して、参加する楽しさを伝える」作戦

・周知、広報活動

- 2月の常会長会議を皮切りに、会議や集会等で協力を依頼
- 1か月前から毎週水曜日のお昼にラジオ体操を村内全域に放送
- メイン会場での参加者促進のため、村内循環バスを用意

・楽しく参加しやすいプログラム

- 2015年：バブルサッカー、ディスクドッチチームバトル、バター作り
- 2014年：スラックライン、ねぶたハネト(実際に衣装を着用してねぶたを体験)
- 2013年：ダンスレッスン、空き缶積み上げ
- 2012年：アームレスリング大会、ちびっこレスリング教室

②村外からの参加を促進：「チャレンジデーへの参加をきっかけに村を知ってもらいファンになってもらう」作戦

・魅力的なバスツアーを実施

- 2014年：新郷村チャレンジデー体験 魅力・お得・満載バスツアー
- 2013年：新郷村ミステリーゾーン訪問の旅
- 2012年：新郷村チャレンジデー参加と新郷村散策の旅

・他市町村との大会、交流会等の実施

- グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、ナニヤドヤラ祭典、消防団玉落とし大会、溪流釣り大会

・その他

- 村外の保育園、小学校、高校、大学が遠足や授業の一環として参加
- 地場産品(飲むヨーグルトや生キャラ煎饼等)の特売
- 役場前を縁日会場にして集客を促進(周辺自治体から出店あり)
- 特産品を無料で振る舞い(せんべい汁、すいとん等)

上記①と②の作戦で、チャレンジデーでの高参加率を維持している。

3. 村長の想い

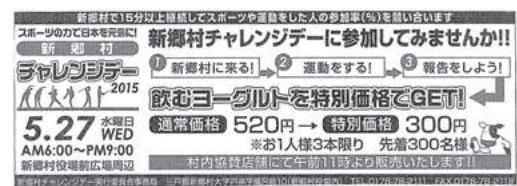
2015年はチャレンジデー日本一奪還を目指し、春先から村民・議会・行政一体となって取り組んできた。願いが叶って本当に良かった。ひとつの目標に向かって村民が力を合わせて頑張った成果は、村の活性化につながっている。

チャレンジデーはスポーツの意識向上、また、村民の健康増進のみならず、親睦と融和の輪を広げ、安全・安心な元気のある村づくりに取り組む団結力を生み出してくれた素晴らしいイベントである。

チャレンジデーを実施して以来、村民の村づくりに対する協力が高まり、共に考え、共に実行する意識向上が現れてきた。今後も日本最高記録更新を目指して、村民力を合わせて頑張っています。



2015年5月26日
デーリー東北



2015年5月26日 東奥日報



新郷村村長 須藤 良美氏

4. 今後

4回の実施でチャレンジデーはお祭りのひとつとして村内外に広く認識された。都市部に比べ、高齢化の速度も速く進んでいるため、チャレンジデーをきっかけに高齢者の多くが健康づくりにスポーツを取り入れ、習慣化することで「健康寿命」の延伸による「健康長寿の村づくり」を目指す。

また、対戦相手との競争により、村民がひとつにまとまり目標に向かうことで、地域コミュニティの活性化、まちづくりへの期待も高まっている。

須藤村長を中心とした実行委員、関係者のチームワークも良く、彼らのリーダーシップと指導力で「健康で明るく心豊かな長寿のむら」（新郷村第5次総合開発計画）を目指し、魅力的な「村づくり」のためにもチャレンジデーは新郷村の恒例行事として定着していくことが期待される。

5. 関連記事・写真



ちびっこレスリング教室



バブルサッカー



ナニヤドヤラの祭典



村役場の懸垂幕



◀ 2012年授与式



▶ 2013年授与式

日本一奪還目指せ

27日本番 実行委氣勢

運動参加率競う「チャレンジデー」

【新郷】 27日行われ、住民のスポーツ参加を競う「チャレンジデー」が、新郷村が4年連続出場する。2013年から年々参加者が急増し、今年も対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）



「日本一を奪還するぞ」。27日のチャレンジデーに向けて氣勢を上げる村民ら

チャレンジデーは、人口対戦カードが組まれ、当日午前0時から午後9時まで、15分おきに連続して運動した人がどれだけ多いかを、人口割合で競う。新郷村は12年の参加率が92・8%、13年も同率の92・8%で自治体の中で1位だった。14年は八戸学院短大の学生らも参加し、前年を上回る90・2%だったが、岡山県新庄村（人口91人）に0・6ポイント負けられ順位を落とした。新郷村実行委員は昨年に行われたラジオ体操に続き、ラジオ体操とダンスを合わせた。

スウォウキング、ゲートボール、「ナニドヤラの祭典」などを企画。また、巨大な「100」の中にいる「100」を模したスチール製の「100」を、深淵の「100」を模したスチール製の「100」を、明野球技大会なども新たに計画している。

村長が「今年も対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）」

2015年5月14日 木曜日 東奥日報

健やかな地域へ住民一丸

チャレンジデー 日本一奪還 新郷村に栄誉の盾

【新郷】 住民のスポーツ参加率を競うチャレンジデーの14日、新郷村は4年連続で「日本一」を奪還した。今年も対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）

「日本一を奪還するぞ」。27日のチャレンジデーに向けて氣勢を上げる村民ら

チャレンジデーは、人口対戦カードが組まれ、当日午前0時から午後9時まで、15分おきに連続して運動した人がどれだけ多いかを、人口割合で競う。新郷村は12年の参加率が92・8%、13年も同率の92・8%で自治体の中で1位だった。14年は八戸学院短大の学生らも参加し、前年を上回る90・2%だったが、岡山県新庄村（人口91人）に0・6ポイント負けられ順位を落とした。新郷村実行委員は昨年に行われたラジオ体操に続き、ラジオ体操とダンスを合わせた。



渡邊専務から大賞の盾を受け取る須藤村長

2015年7月27日 月曜日 東奥日報

新郷村 スポーツ参加101%

3連続逃す 村長「来年は日本一」



子ども大人も一緒に、役場前広場でラジオ体操（28日）

【新郷】 人口が同規模の自治体間で行われるチャレンジデー。今年も対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）

「今年も日本一を目指さず」。本番に向け氣勢を上げる新郷村の村民たち

参加者自治体のうち1位だった。2年ぶりの今年、ラジオ体操やウォーキング、ゲートボールなどのほか、空き缶を使ったチャレンジや旗を使った体操なども予定。本年度対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）」

2014年5月30日 金曜日 読売新聞

目指せ 3年連続日本一



ガンパロー三唱で氣勢を上げる関係者

住民総参加型 スポーツイベント チャレンジデーへ氣勢

【新郷】 住民のスポーツ参加率を競うチャレンジデーの14日、新郷村は4年連続で「日本一」を奪還した。今年も対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）

「今年も日本一を目指さず」。本番に向け氣勢を上げる新郷村の村民たち

参加者自治体のうち1位だった。2年ぶりの今年、ラジオ体操やウォーキング、ゲートボールなどのほか、空き缶を使ったチャレンジや旗を使った体操なども予定。本年度対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）」

2014年4月26日 土曜日 デーリー東北



「今年も日本一を目指さず」。本番に向け氣勢を上げる新郷村の村民たち

【新郷】 住民のスポーツ参加率を競うチャレンジデーの14日、新郷村は4年連続で「日本一」を奪還した。今年も対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）

「今年も日本一を目指さず」。本番に向け氣勢を上げる新郷村の村民たち

参加者自治体のうち1位だった。2年ぶりの今年、ラジオ体操やウォーキング、ゲートボールなどのほか、空き缶を使ったチャレンジや旗を使った体操なども予定。本年度対戦相手は須磨良美村（人口111人）に決まり、村はさまざまなスポーツを計画。村外からの参加も可能で、村の人口に相当する参加者数（41人、参加率100%）を目標に、2年ぶりの「日本一奪還」を目指す。（山崎光弘）」

2013年5月2日 木曜日 東奥日報

株式会社伊藤園様からの協賛



チャレンジデーでは2011年から株式会社伊藤園様からのご協賛をいただいております。

チャレンジデー2015では全実施自治体に対し以下のご協賛をいただきました。

- ・「おーいお茶 緑茶ペットボトル」295ml 10ケース（1ケース24本入）

また、全国共通イベントの「スポーツごみ拾い」にエントリーの自治体には、チーム数によりごみ袋やお茶のご協賛をいただきました。

チャレンジデー2015 実施全自治体



「おーいお茶 緑茶 ペットボトル」295ml
10ケース（1ケース24本入）



高校生部活前に（熊本県山江村）

全国共通イベント 「スポーツごみ拾い」参加自治体



- ・「おーいお茶 緑茶 ペットボトル」295ml
チーム数に応じ1ケースから最大10ケースまで
(1ケース24本入)
- ・ごみ袋 幅45cm×高さ60cm
チーム数により100枚～500枚

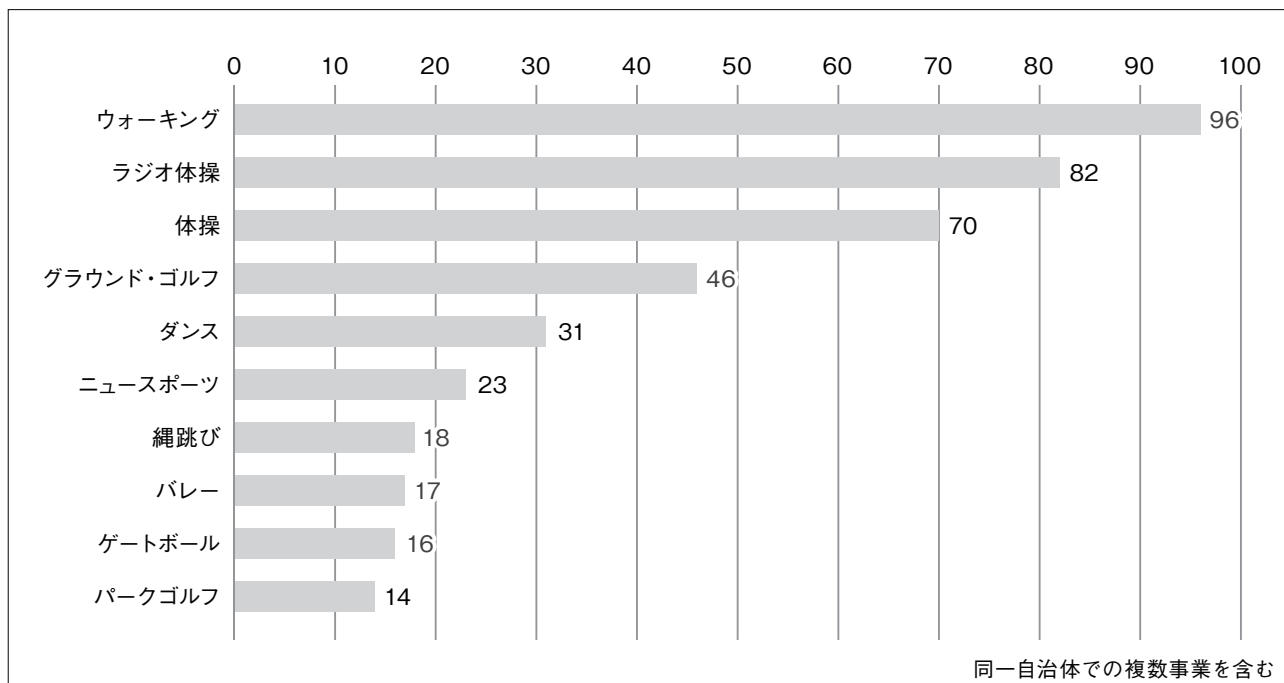


加世田運動公園（鹿児島県南さつま市）

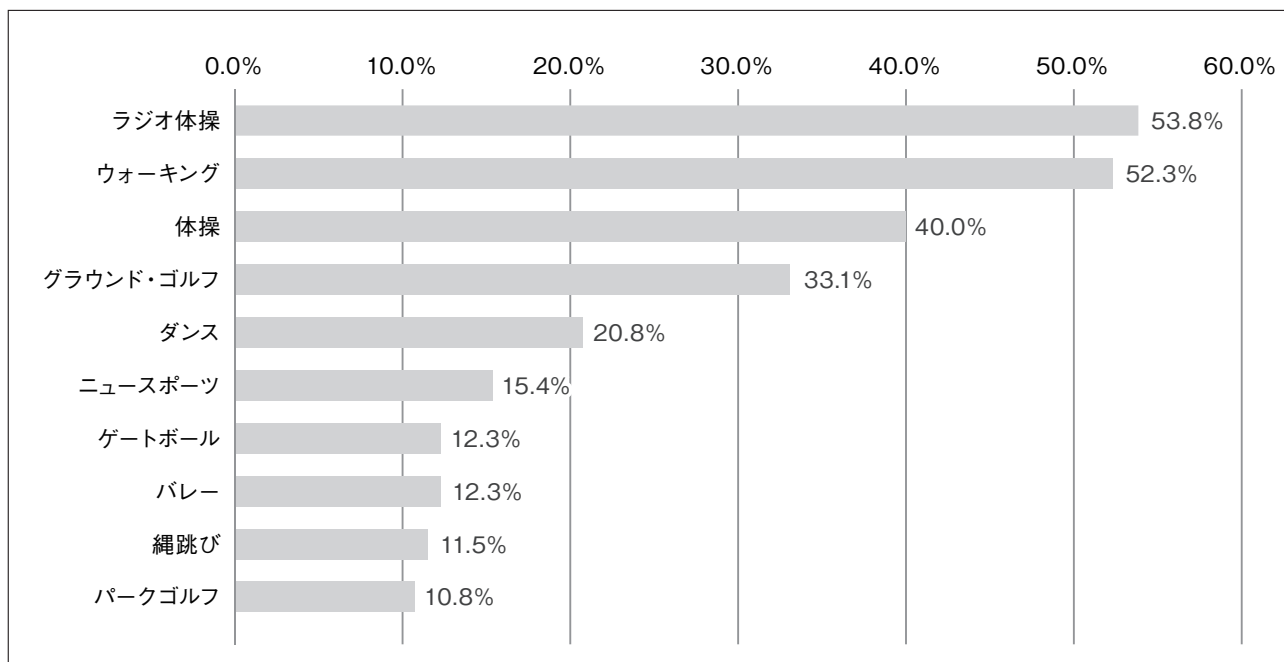
チャレンジデー 2015 レポート集計

1. 実施プログラム（種目）

【図1-1】種目別プログラム実施数（上位10種目）



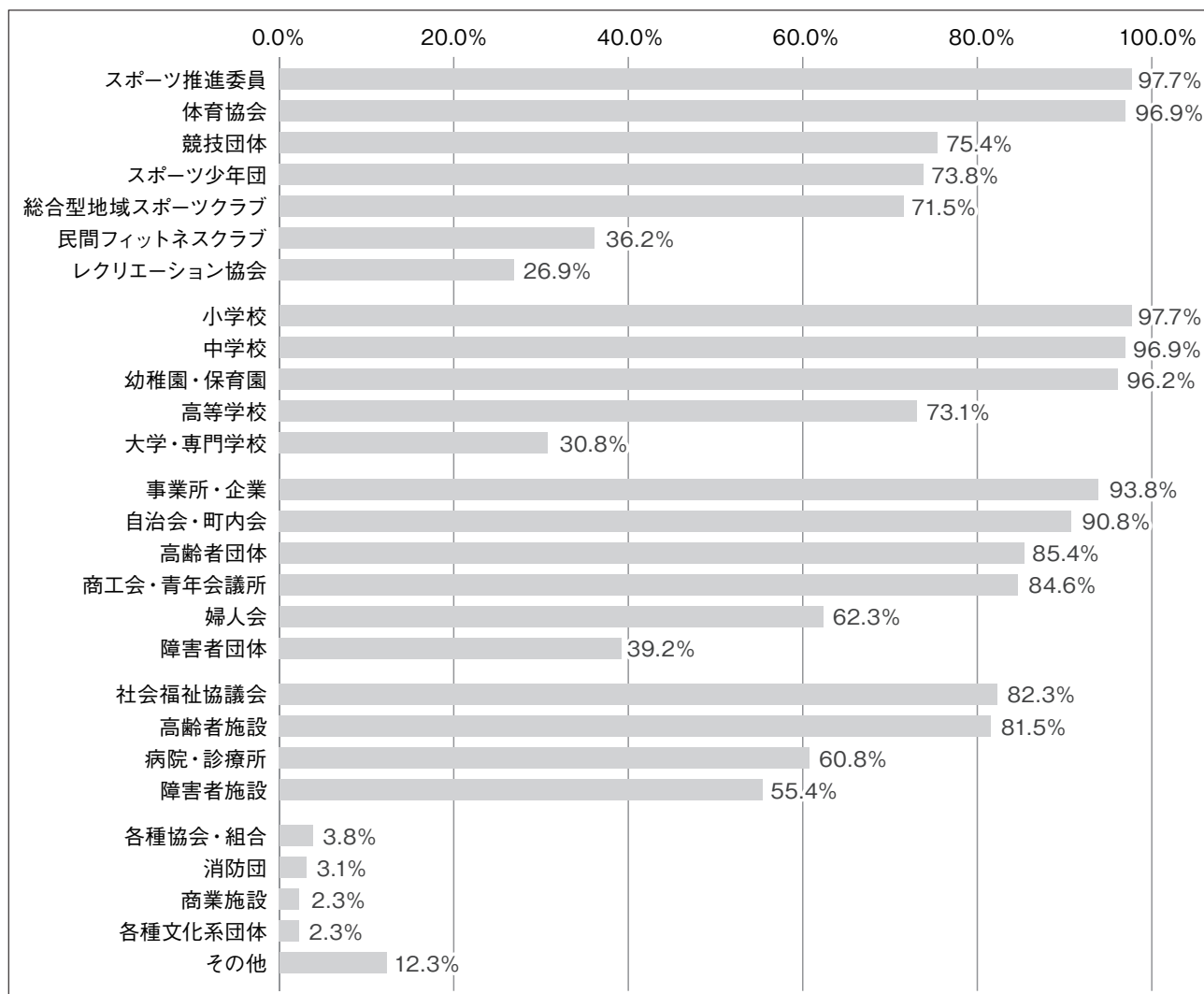
【図1-2】自治体別プログラム実施率（上位10種目）（n = 130）



2. 協力

①組織・団体

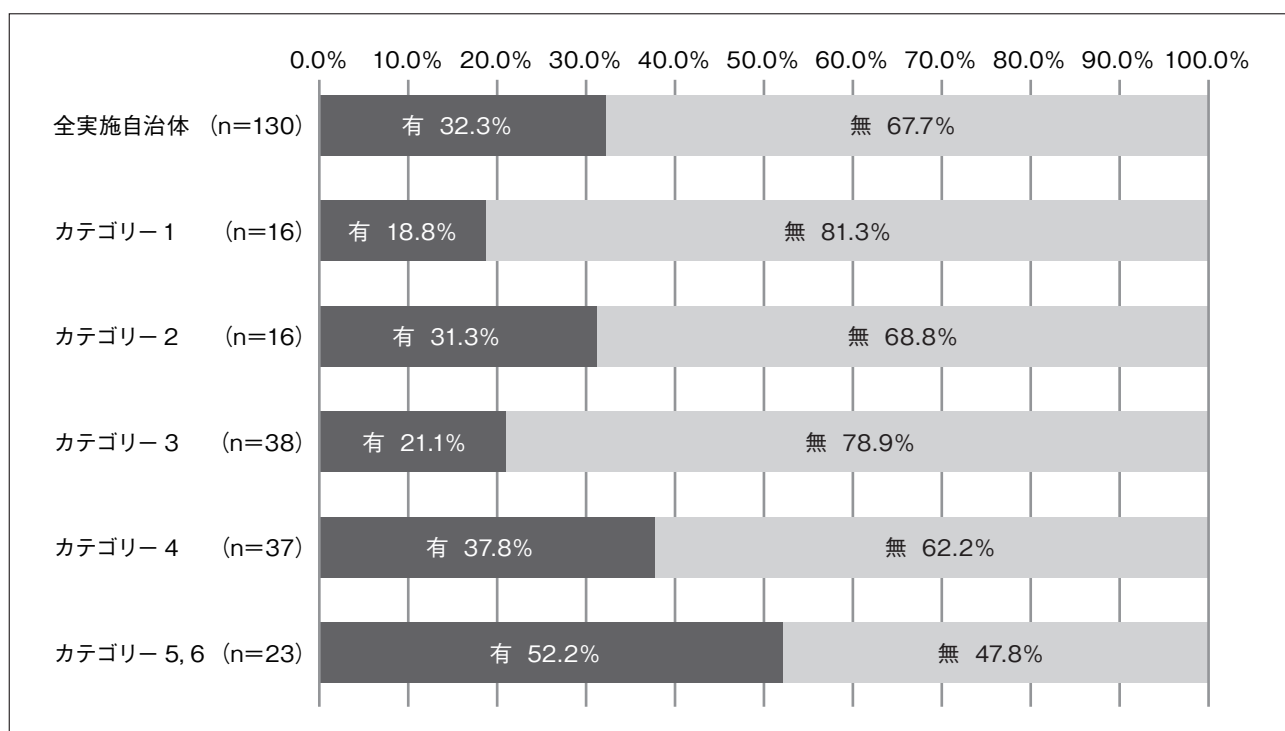
【図2-1】組織・団体等の協力（全実施自治体）（n = 130）



- ・ ほぼすべての自治体がスポーツ推進委員、体育協会、小中学校、幼稚園・保育園の協力を得てチャレンジデーを実施している。
- ・ 90%以上の自治体が事業所・企業、自治会・町内会の協力を得ており、こういった組織による協力、参加が全体の参加率を押し上げている。
- ・ 高齢者団体、高齢者施設の協力度が高い。
- ・ 民間フィットネスクラブの協力はカテゴリー4から大きく増えており、人口3万人以上の自治体に多く存在することが予想される。（カテゴリー3：21.1% → カテゴリー4：56.8%）

②アスリート・プロチーム等

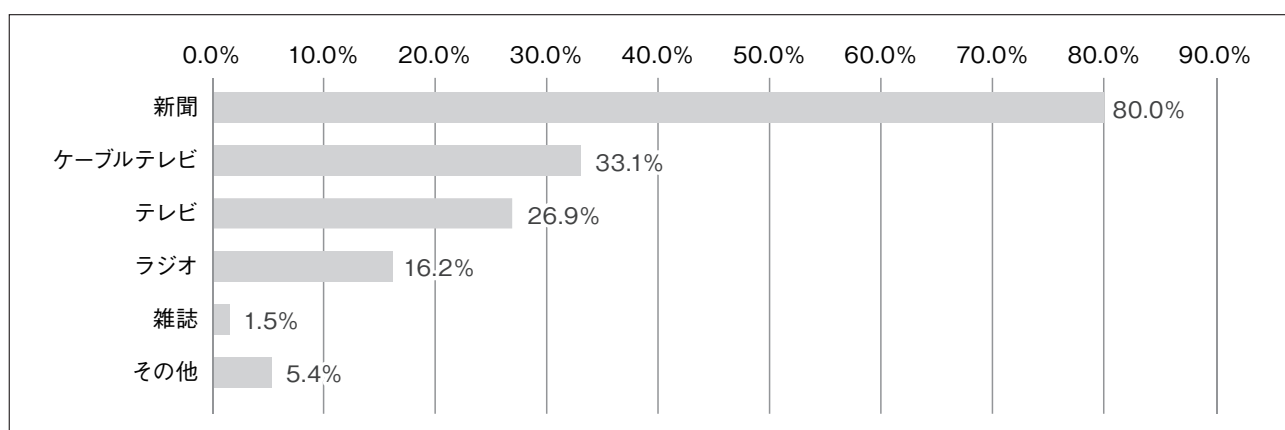
【図2-2】アスリート・プロチーム、著名人の参加（全実施自治体・カテゴリー別）



- ・人口規模が大きいほど参加が多い傾向にある。（カテゴリー5, 6では半数以上の自治体で実績あり）通常、クラブチームやプロチームは人口規模が大きい自治体に存在することが多く、想定される結果となった。
- ・チャレンジデーが平日の事業のため、週末は大会やイベントで多忙なアスリートも参加しやすく、地元プロチームからも地域貢献の面で協力が得られやすい面があると推測される。

3. メディア

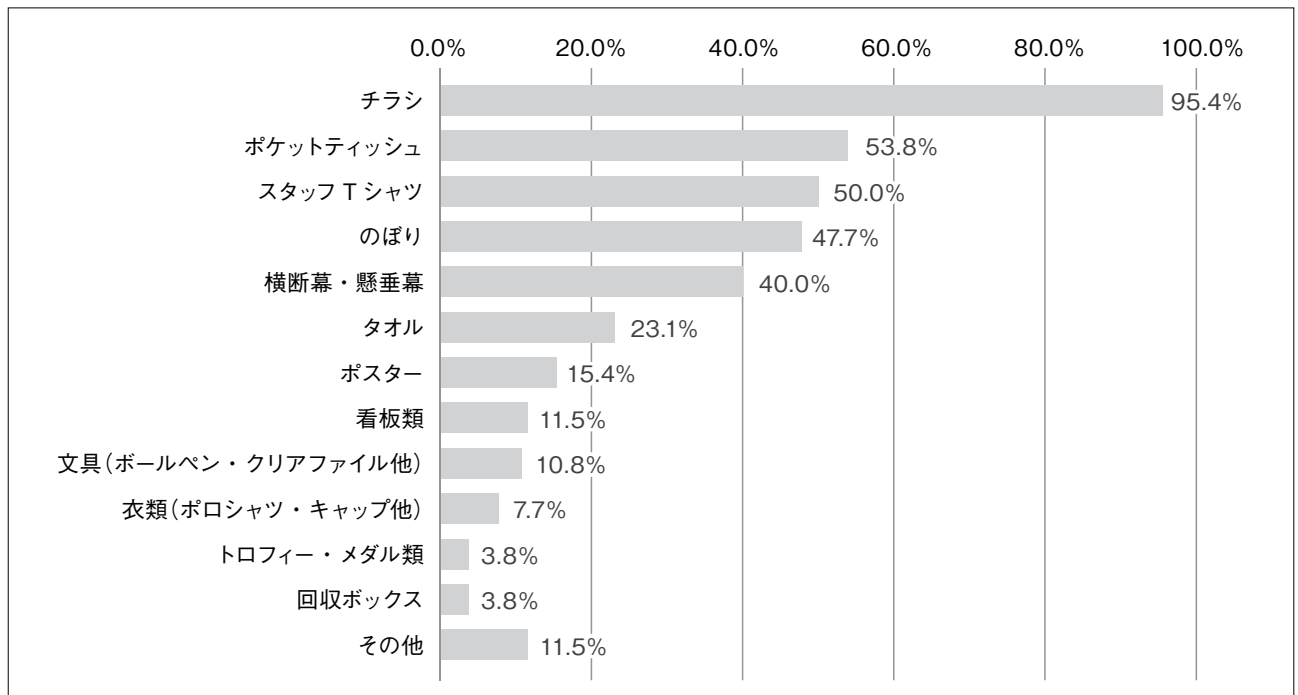
【図3】開催前後3日間の取材状況（全実施自治体）(n = 130)



- ・新聞社からの注目度が高い。
- ・テレビは地上波よりもケーブルテレビからの取材が多く、地域イベントとして注目されていることが推測される。
- ・ケーブル、地上波に関係なく、人口に比例してテレビからの取材が多くなる。

4. 製作物

【図4】主な製作物（全実施自治体）（n = 130）



- ・ほとんどの自治体がチャレンジデーの周知にチラシを使用している。
- ・約半数の自治体がポケットティッシュ、スタッフTシャツ、のぼりを製作、続いて約40%の自治体が横断幕・懸垂幕を製作するなど、周知を目的とした製作物がほとんどである。
- ・人口カテゴリーによってはポケットティッシュよりもスタッフTシャツが上位の場合もあり、無料配布による周知よりも、自治体職員や関係者がスタッフTシャツを着用することで、周知の効果を期待している自治体も多いことが推測される。
- ・タオルやボールペン・クリアファイルは、参加賞として使用されていることが推測される。
- ・トロフィーやメダル類は、チャレンジデー当日に記念大会や競技会等を開催し、近隣自治体からの参加を目的に製作していることも考えられるが、全体としては少ない。

チャレンジデー 2015

実施報告

200万人のスポーツイベント

CHALLENGEDAY

「スポーツで元気なまちづくり」

主 催

愛別町チャレンジデー実行委員会 (会長 前佛秀寿)
愛別町教育委員会
〒078-1493 北海道上川郡愛別町字本町 345 番地 1
TEL : 01658-6-5111 FAX : 01658-6-4187

結 果

人 口 : 3,098 人	北海道愛別町	○
参加者数 : 1,923 人	VS	
参加率 : 62.1%	富山県舟橋村	●
取得メダル : 銀		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ポテトチャリティーパークゴルフ大会 (きのこの里パークゴルフ場) 99 人
- ②早朝ラジオ体操 (愛別町内 4 ヲ所) 86 人
- ③チャレンジデーミニバレー大会 (愛別町 B&G 海洋センターアリーナ) 56 人
 - ・チャレンジデーの参加者を新たに掘り起こしたいと思い、愛別町内のミニバレー団体に協力いただき、今回新企画としてミニバレー大会を開催しました。参加者から大変好評で今後も継続してほしいとの意見をいただきました。
- ④あいべつ “ぶち” スポッチャ (愛別町農村環境改善センター多目的ホール) 51 人
- ⑤ B&G 海洋センタープール無料開放 (愛別町 B&G 海洋センタープール) 30 人

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / 競技団体 / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所

広報・周知

開催 5 回目にして、初めて愛別町内のほとんどの事業所に案内をし、これまで取り組んでいただいている学校や家庭に加え、職場単位でもチャレンジデーに取り組んでいただけるよう PR に努めました。今年は案内を出す時期が遅かったものの多少の効果があったと思われるため、今後も継続して実施し、より多くの方々に取り組んでいただけるように努力します。

製作物

チラシ 2,300 枚

実施効果

今回、5 回目の実施となり、チャレンジデーが年々浸透し、関心を持つ方が増えていると感じています。来年度はさらに多くの方々楽しんで参加いただけるよう工夫し、これまで以上に愛別町内にスポーツが推進されるように努めます。

担当者から

チャレンジデーは町民を始め、多くの皆さんがスポーツに取り組むきっかけとなる素晴らしいスポーツイベントだと思います。

10 月の体育の日に近隣町と対戦形式で開催している「秋チャレンジデー」とともに今後も継続して実施したいです。



“ぶち” スポッチャ集合写真



ミニバレー大会



全国共通イベント空き缶積み上げ

主 催

芦別市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 今野 宏)

芦別市教育委員会 体育振興課 体育振興係

〒 079-1371 北海道芦別市上芦別町 6

芦別市総合体育館内

TEL : 0124-24-2525 FAX : 0124-22-5807

結 果

人 口 : 15,370 人 北海道芦別市 ●●

参加者数 : 5,839 人 VS

参加率 : 38.0% 秋田県五城目町 ○

取得メダル : 銀 熊本県あさぎり町 ○

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① 芦別版ミニチャレンジデー (市内一円) 1,252 人
 - ・SSF で行うチャレンジデーの芦別版として、市内町内会及び事業所を対象に実施しています。構成人員が同規模の町内会又は事業所を対戦相手に指定して、当日 15 分以上運動した方々の参加率を競うイベントです。
- ② みんなでラジオ体操会 (市内 13 会場 (実行委員会主催 9 会場、自主開催 4 会場)) 510 人
- ③ 市民パークゴルフ場無料開放 (市民パークゴルフ場) 151 人
- ④ チャレンジ☆ソフトテニス (本町テニスコート) 50 人

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 大学・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 社会福祉協議会 / 高齢者施設 / 障害者施設

メディア

北海道新聞 / プレス空知

広報・周知

市広報紙、新聞折り込みチラシ、新聞報道、市公用車による市内巡回放送

製作物

チラシ 7,400 枚 / スタッフ T シャツ 17 枚 / ポケットティッシュ 4,000 個 / のぼり 25 本

実施効果

市民から「チャレンジデーを機に今後も毎日運動をしたい」という声があったほか、地域団体が自主的にラジオ体操を行うなど、運動に対して積極的な取り組みを行う団体が少しずつ増えてきたと感じます。

担当者から

チャレンジデーの広報について、市広報紙、新聞折り込みチラシ、新聞報道、市公用車による巡回広報を行いました。地域においてチャレンジデーというイベントの認知度が依然として低い状況です。回数を重ねることで市民に浸透していくものと考えていますが、少ない予算の範囲で効果的な周知を行うことが、今後の課題です。



ラジオ体操会



ラジオ体操会



チャレンジ☆ソフトテニス

主 催

標津町チャレンジデー実行委員会 (会長 金澤 瑛)
標津町教育委員会
〒 086-1652 北海道標津郡標津町南 2 条西 4 丁目 1-1
標津町総合体育館
TEL : 0153-82-3112 FAX : 0153-82-2098

結 果

人 口 : 5,417 人	北海道標津町	○
参加者数 : 4,564 人	VS	
参加率 : 84.3%	岩手県葛巻町	●
取得メダル : 金		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操放送 (各家庭、職場等) 2,461 人
 - ・ 職場や町内会及び漁家、農家等へラジオ体操放送について事前に訪問し、周知しています。
 - ・ 当日は午前 10 時と午後 3 時にチャレンジデーの PR とともに町防災行政無線において放送しました。
 - ・ 実施後、団体担当者及び個人での実施者から連絡を受けています。
 - ・ ラジオ体操の周知に併せて補強運動やウォーキングの実施について事前訪問の中で説明しています。
- ②よさこいソーラン&長縄跳びにチャレンジ (各保育園・幼稚園・小中高等学校) 914 人
- ③チャレンジラジオ体操 (図書館前、川北生涯学習センター前) 68 人
- ④パークゴルフの集い (総合体育館) 67 人
- ⑤ソフトバレーボールの集い (総合体育館、川北体育館) 55 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設

メディア

釧路新聞／総合企画 (月刊誌)「結果記事」

広報・周知

- (工夫)
- ・ 町内の事業所、商店、職場等を訪問し、チラシ及び公文書 (参加申込書付) により説明することで PR に努めました。(集客効果のある所にはポスターも配布)
 - ・ 同様に町内合同校長会においても PR しました。
 - ・ 町内会長はじめ漁家や農家を訪問し、チラシ及び公文書 (参加申込書付) により説明し PR に努めました。
- (成果)
- ・ 町民のチャレンジデーに対する意識が年々向上している手ごたえがつかめています。(参加率も向上)

製作物

チラシ 2,600 枚／スタッフ T シャツ 40 枚／タオル 250 枚

実施効果

- ・ 日常生活の中でライフステージに応じた健康・体力づくりの大切さと、ヘルスプロモーション (自分の健康は自分で守る) の意識の啓発ができ、運動やスポーツをすることで生活の質 (QOL) の向上に繋げることができました。
- ・ 住民総参加事業であるため、一つの目標に向かって住民の気持ちが一つになり、仲間意識や連帯感の醸成に繋がり、地域アイデンティティの形成に役立ちました。
- ・ 各スポーツ団体や文化団体も町外者を取り込んでチャレンジデーを盛り上げるという機運が高まってきました。
- ・ チャレンジデーの対戦が縁で、これまで交流の無い地域の情報が得られ、関心を持ち、見聞を広めることができたとともに、我が町を PR することで地域に誇りを持つなど、郷土愛の醸成に繋げることができました。

担当者から

ファイナルプログラムで実施している地区のスポーツまつりは、殆どの方が日中のチャレンジデーに参加済みの状況のため、その時にならないと参加者数がわからない状況です。今後、この件に関して検討したいと思います。



快晴のもとチャレンジラジオ体操



心のラリー？ラージボール卓球の集い

岩手県葛巻町に勝

標津 スポーツチャレンジデー

【標津】運動した住民の割合で自治体同士が競う「スポーツチャレンジデー2015」（笹川スポーツ財団主催）が5月27日行われた。釧根管内で唯一出場した同町は、参加率84・3%を記録し、対戦相手の岩手県葛巻町に勝利した。標津町が今回で出場8回目なのに対し、葛巻町は21回目の強豪。しかし参加率は68・4%と伸び悩み、標津町が15ポイント差を付けて圧勝した。カテゴリ2（6000以上1万人未満）で



エアロビクスで汗を流す参加者
(標津町提供)

2015年6月3日 水曜日 釧路新聞

岩手県葛巻町と割合勝負

【標津】運動をした住民の割合で、自治体同士が競う「スポーツチャレンジデー2015」（笹川スポーツ財団主催）が27日、全国各地で開催される。釧根管内では唯一の参加となる標津町は、今年で8回目、対戦相手は出場21回目の強豪・岩手県葛巻町。当日は、町内の各施設でスポーツイベントが企画されており、町総合

で 町 標 津 町 割 合 勝 負

体育館は参加を呼び掛けている。このイベントは、住民参加型のスポーツイベントで、今年には130の自治体や地域が参加。早朝から午後9時までの間に、15分以上の運動で参加と見なし、その割合で勝敗を決める。敗れた場合、対戦相手の旗を、庁舎のポールに掲揚し、健闘をたたえる。

標津町の勝敗は、東日本大震災の影響で対戦方式を取らなかった2011年以外で、4勝2敗。昨年は78・8%で、同等規模の自治体15町村の中で最も高いカテゴリ1優秀賞に輝いた。

チャレンジデー参加は、事前登録していなくても当日申請可能。町外在住者が標津町内で運動しても参加できる。問い合わせは同体育館0153(82)3112へ。

(原田未央)

2015年5月27日 水曜日 釧路新聞



恒例のヨガ教室



3町から参加したミニテニス交流会

主 催

新得町チャレンジデー実行委員会 (委員長 浜田正利)
新得町教育委員会 社会教育課
〒081-0014 北海道上川郡新得町4条南4丁目
新得町公民館内
TEL: 0156-64-0532 FAX: 0156-64-5880

結 果

人 口: 6,447 人
参加者数: 4,109 人
参加率: 63.7%
取得メダル: 金

北海道新得町 ○
VS
鹿児島県南大隅町 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジラジオ体操 (新得小学校グラウンド、保健福祉センター駐車場、屈足支所駐車場) 332 人
・ 町内3カ所の会場で、朝のラジオ体操とストレッチなどの柔軟体操を実施しました。
- ②ボクササイズ (保健福祉センター) 90 人
- ③ビーバー 12 時間駅伝 (町営温水プール) 86 人
- ④ゲートボール交流 (市街地ゲートボール場、佐幌振興会館ゲートボール場) 77 人
- ⑤パークゴルフ交流 (新得運動公園パークゴルフコース、サホロリバーサイドパークゴルフ場、屈足公園パークゴルフコース) 60 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

十勝毎日新聞

広報・周知

各事業所への訪問やダイレクトメールで参加を呼びかけたことで、事業所からの報告が今年では増加しました。

その他は、町広報紙、チラシ、ティッシュ配り、懸垂幕での周知などを実施しています。

保健福祉部署と連携し、健康づくりのきっかけとしてチャレンジデーと併せて「健康ポイントラリー」を実施しました。チャレンジデー後も体力づくり・健康づくりの取り組みが続くよう現在もポイントラリーが続いています。

製作物

チラシ 10,000 枚/スタッフTシャツ 51 枚/ポケットティッシュ 3,000 個/タオル 1,400 枚/横断幕・懸垂幕 2 枚/広報用クリアファイル 1,000 枚/ポスター 150 枚

実施効果

チャレンジデーをきっかけとして、町民の体力づくりや健康に関する意識が少しずつ高まっているところです。

「チャレンジデー」の名のもとに、社会体育担当者と保健福祉部署担当者が協力して、積極的に体力づくり・健康づくりをアピールできる場となっています。

福祉部署と連携し、健康づくりのきっかけとして「健康ポイントラリー」に取り組んでいます。これは体力づくりや健康づくり、健康診断などの4項目をクリアすると、町内で使用できる商品券をプレゼントするもので、健康づくりに楽しく取り組むことを目的にしています。

担当者から

事業所訪問や町広報紙、チラシ、ティッシュ配り、懸垂幕など、事前の周知活動が大変でしたが、結果として多くの町民に参加いただきました。

今年は町内各事業所へのPRを強化しました。働く世代の健康増進も積極的に福祉部局と連携し進めていきたいと考えたからです。仕事で忙しい方の運動不足が職場での気軽な取り組みにより習慣化することで、解消していけば良いと考えています。

事務局担当として、多くの町民から励ましの声をいただいたこと、町民同士でチャレンジデーの声かけをして住民同士の連携が、推進できたことが良かったと考えています。



朝のチャレンジラジオ体操



美容と健康にチャレンジ YOGA

鹿児島・南大隅町から職員

新得来町、エール交換

【新得】27日に全国各地で行われる市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」で、新得町と対戦する鹿児島県南大隅町の職員2人が27日、町役場を訪れた。浜田正和町長とエールを交換し、互いの健康を誓い合った。

チャレンジデーは毎年5月の最終土曜日に行われており、規模が倍増し自治体や地域間で、午前0時から午後9時までの間に15分以上スポーツや健康づくりをした住民の参加率を競う。敗れた方は、対戦相手の町旗



【新得】27日に全国各地で行われる市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」で、新得町と対戦する鹿児島県南大隅町の職員2人が27日、町役場を訪れた。浜田正和町長とエールを交換し、互いの健康を誓い合った。

チャレンジデーは毎年5月の最終土曜日に行われており、規模が倍増し自治体や地域間で、午前0時から午後9時までの間に15分以上スポーツや健康づくりをした住民の参加率を競う。敗れた方は、対戦相手の町旗

2015年5月23日 土曜日 十勝毎日新聞

運動参加で全国対戦

4町チャレンジデー 体操やウォーキング



青空の下、ウォーキングで汗を流す町民（27日午前9時50分ごろ、芽室町東芽室で）

【幕別・芽室・本別・新得】自治体間で住民の参加率を競う「チャレンジデー」が27日（公益財団法人笹川スポーツ財団が主催）が27日午前0時、十勝管内4町でも始まった。それぞれ町の対戦相手の自治体に勝つと、ラジオ体操やウォーキング、ヨガなどのイベントを企画、個人やサークルで運動した場合は、各町の実行委員会に申告するよう呼び掛けている。

運動は同日午後9時までの高さを競った。幼稚園の保護者間で参加した宮田緑さん（46）は「疲れたが楽しかった」と笑顔。

本別では午前7時すぎから対戦相手である、約130人が参加して「おはようラジオ体操。午前中は南大隅町、本別が秋田県小坂町と対戦する。

新得でも午前6時20分から保健センター（なごみ駐車場）で33人がラジオ体操に臨み、ボクササイスなども展開された。

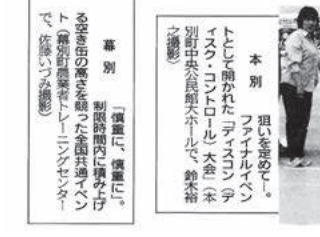
各町の実行委員は「勝利のため、ぜひ『運動した』という申告を」としている。参加者数は同日午後10時までに確定する。（深津慶太）

2015年5月27日 水曜日 十勝毎日新聞



爽快! 運動対決 幕別・芽室・新得・本別

【幕別・芽室・新得・本別】同規模の自治体同士が住民運動参加率を競う世界的な対戦型イベント「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が27日、一斉に行われた。管内では今年も4町が「対戦」。芽室と新得、本別が相手自治体の参加数字を上回って勝利した。残念ながら負けた幕別も含め、当日、町民が各種スポーツに取り組んだ様子を写真で紹介する。



芽室 「通った!」周りの参加者や観客の拍手を喜ばれ、思わず笑顔を見せる女子(芽室町南大隅)の選手(深津慶太撮影)

本別 狙いをめて。フライングで開かれたディクソン・イスク・コントロール。大差。本別町中央公民館大ホールで、鈴木裕之撮影

幕別 制限時間内に、準備に。空を切る勢いで、十勝共同センター(幕別町長官舎)で、鈴木裕之撮影

2015年5月31日 日曜日 十勝毎日新聞



新得山登山にチャレンジ

主催

鷹栖町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 谷 寿男)
教育課
〒071-1292 北海道上川郡鷹栖町南一条3丁目5番1号
TEL: 0166-87-2028 FAX: 0166-87-2850

結果

人口: 7,265人	北海道鷹栖町 ●
参加者数: 4,617人	VS
参加率: 63.6%	秋田県八峰町 ○
取得メダル: 金	

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①全町一斉ラジオ体操 (総合体育館前ほか町内全7ヵ所) 301人
 - ・多くの人が最も参加しやすい時間帯で、誰でも知っていて気軽に参加できるラジオ体操を6:30のラジオ放送にあわせて、町内全7ヵ所で一斉に行いました。
 - 参加者、ボランティア協力者ともに毎年一番多いプログラムとなっています。
 - ・チャレンジデーの翌週から毎週水曜日に計8回、5ヵ所での朝のラジオ体操会を実施しています。
 - ・この活動を通じて、健康づくりの大切さに気づき、住民同士の交流の場として、健康づくりの習慣化の定着につながりたいです。
- ②空き缶積み上げ (総合体育館) 105人
- ③ペアなわとびイベント (総合体育館) 40人
- ④ソフトボールナイターイベント (町民グラウンド) 36人
- ⑤子育てママのための健康づくり講習会 (子育て支援センター) 31人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/高齢者施設

メディア

旭川ケーブルテレビ「POTATO DAILY NEWS」

広報・周知

「生涯元気」を合言葉に、チャレンジデーを「健康づくりの大切さに思いをはせる1日」として位置づけ、事前にあらゆる場面で町民と顔を合わせて周知活動を行ったことで、広く健康への意識付けを図ることができました。

チャレンジデーPRサポーターを募集し、希望する町民に周知活動を協力いただいたところ、参加率の上昇と当日の運営ボランティアの充実につながりました。

人通りの多い場所や各施設の目につきやすいところへのぼりを設置し周知を図りました。

今年は「2年連続金メダル」をメインテーマに掲げイベント周知を図ったところ、住民の関心を高めることにつながり、広く健康づくりの意義を広めることができました。

製作物

スタッフTシャツ 20枚/ポケットティッシュ 1,000個/タオル 1,300枚

実施効果

4回目の実施で、参加率も年々上がっており、住民の関心や理解も深まりました。健康づくりへの取り組みの継続意欲を高める機会として定着させていくべき、との声も多くいただきました。

5月の開催はどうしても町の農繁期に重なるという課題が毎年出ており、町民の関心の高まりもあり、周辺町で独自に「秋のチャレンジデー事業」を2年連続で実施する運びとなりました。

「2年連続金メダル」という、シンプルな目標をテーマにしたことにより、参加意欲の刺激につながったと思います。今後もより一層盛り上がり、意義深い事業とすることを目指し、町長、教育長自らが、近郊の市町村に参加を呼び掛けるなど、圏域一体となった事業展開を目指していきます。

担当者から

「健康づくりの大切さに思いをはせていただく1日」と位置づけ、生涯元気を合言葉にチャレンジデーの取り組みを継続しています。4回目の実施で、開催や対戦を楽しみにする方も増え、健康への意識付けとして一定の成果を得ることができていると感じます。今後も気軽に参加できるイベントを増やし、健康づくりの習慣化の定着を狙い進めていきたいです。

本町では、対戦内容やチャレンジデーへの関心を高めることを目的に、対戦自治体の特産品を抽選賞品とする取り組みを行いました。相手自治体への理解と関心を高める交流にもつながるので、対戦自治体の特産品を記念品とする場合に限り、助成金対象経費に検討いただきたいです。



さわやかに全町一斉ラジオ体操会

イベント

5/27(水) 鷹栖町の施設を無料開放します

全国一斉チャレンジデーに鷹栖町は参加します。町内外問わず、各施設を無料でご利用いただけますので、ぜひこの機会にお越しください。脳年齢&血圧測定(サンホールはびねす9:00~)も受けてみてくださいね。

●プール・浴室
場所/サンホールはびねす(南1-3) 10:00~21:00

●心と体を癒すリラクソヨガ
[定員15、要申込]
場所/北野地区住民センター(北野3-2) 14:00~

●卓球、テニボン、ソフトテニス、バドミントンなど
場所/総合体育館(南2-4)、B&G海洋センター(北野西4-2) 9:00~21:00
※上記種目は時間固定、それ以外は一般開放

《商品券争奪イベント》
・空き缶積み上げ1チーム 3~4名
・ヘアなわとび1チーム 2名
場所/総合体育館(南2-4) 18:00~
申込不要、上着持参

鷹栖町教育委員会 教育課体育振興係 ☎0166-87-2028

2015年5月22日 金曜日 情報誌 ライナー

元気さ対決へエール交換

鷹栖町長 対戦する秋田・八峰町長と

27日「チャレンジデー」

【鷹栖】全国一斉に27日に開催されるスポーツイベント「チャレンジデー2015」に参加する鷹栖町は、対戦相手の秋田県八峰町とエール交換を行った。谷寿男町長と加藤和夫町長が互いの健康を誓い合った。

「チャレンジデー」は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、スポーツや健康づくりへの住民参加率を競うイベント。鷹栖町は今年で4回目の参加。町は健康づくりのスローガン「生涯元気」を全職員に住民へ参加を呼びかけ、昨年は参加率61%以上の自治体に贈られる金メダルを初めて獲得した。エール交換は15日に行われ、互いの町の特産品や観光、ふるさと納税などについて情報交換をした後、谷町長が「お互いに金メダルを目指して、町が盛り上がるように頑張りますよ」と話した。

町は「チャレンジデー」に合わせて、体育館や浴室、プールの無料開放などを行うほか、気軽に参加できるイベントを計画している。(大内義孝通信)



チャレンジデーの対戦相手である秋田県八峰町の加藤和夫町長と電話でエール交換を行う谷寿男町長

2015年5月22日 金曜日
北海道新聞

体動かすのって楽しいね!

管内3町で「チャレンジデー」

人口の近い自治体同士が、15分以上続けスポーツに取り組んだ住民の参加率を競う「チャレンジデー2015」(毎日スポーツ財団)が、全国で一番先行した。鷹栖、東神部からは鷹栖、鷹栖、東神部の3町が参加した。

3町は昨年、体育の日、独自の「秋のチャレンジデー」を行って町民の健康増進に力を入れている。4回目の参加となった鷹栖町では早朝のラジオ体操

体動かすのって楽しいね!
管内3町で「チャレンジデー」

チャレンジデーに参加、ラジオ体操で笑顔を見せる子供たち (鷹栖町提供)

・1%で、46・3%の富山県舟橋村を上回った。東神部は51・6%、和歌山県上富田町の69・2%に及ばなかった。(菅原悠里)

2015年5月30日 土曜日
北海道新聞



親子で3B体操



保育園でラジオ体操

主 催

苫前町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 森 利男)
苫前町教育委員会 社会教育課 文化スポーツ係
〒 078-3621 北海道苫前郡苫前町古丹別 187-15
苫前町公民館
TEL : 0164-65-4076 FAX : 0164-65-3220

結 果

人 口 : 3,377 人
参加者数 : 1,940 人
参加率 : 57.4%
取得メダル : 銀

北海道苫前町 ○
VS
沖縄県伊江村 ●

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① (目指せ! 運動週間) 「1 週間、朝のラジオ体操にチャレンジ!」
(苫前小学校前 (延べ)) 272 人
- ② (目指せ! 運動週間) 「1 週間、朝のラジオ体操にチャレンジ!」
(苫前町公民館前 (延べ)) 92 人
・ 1 日のみの単発の取り組みでは、運動習慣に繋げることが難しいため、平日の 1 週間にチャレンジをしました。全日程参加した方には、対戦相手の沖縄県伊江村の特産品を参加賞としました。
- ③ 誰でも色んなスポーツを体験できる「スポーツ体験 ちょこっと! ちょこっと!」(スポーツセンター、社会体育館) 90 人
- ④ 苫前町玉入れ選手権 (苫前小学校体育館) 49 人
- ⑤ 誰でも色んなスポーツを体験できる「スポーツ体験 ちょこっと! ちょこっと!」(苫前小学校体育館) 25 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/幼稚園・保育園
/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所
/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/病院・診療所

メディア

留萌新聞/羽幌タイムス/北海道新聞

広報・周知

毎年、春に桜の開花に合わせて開催される地域のイベントにおいて、直接マイクを持ち呼びかけたところ、町内の方はもちろん、町外の方から「あの時の…」と言われ、現場の作業員に声がけされました。こちら、あの時にチャレンジデーの会場にいたんだと嬉しく思いました。

今まで限定されていた回収箱設置場所を、全ての住民が参加できる環境を整えるため、町内の全 19 地区に回収箱を設置しました。

製作物

チラシ 1,280 枚/スタッフ T シャツ 10 枚/横断幕・懸垂幕 3 枚
/ポスター 100 枚

実施効果

動員的なイベントだと間違った捉え方をされてしまう場合もありますが、住民の誰もが参加できる事業が、この事業以外にあるのでしょうか。あまりお金を掛けずに実施できるのも、この事業の特徴であります。また、高齢化、広域的な地域で、特に交通手段がない住民の参加が難しいことを、改めて住民とふれ合う中で感じることができました。チャレンジデーはきっかけでありここからどうするのが大事だと感じております。住民の誰もが参加できる環境をチャレンジデーをきっかけとして、スポーツの良さを手段に、隣人が隣人を助け合うなど、様々な可能性をこの事業は秘めていると思います。

担当者から

チャレンジデーの周知や参加へのお願いで町内に足を運ぶことで、独居老人が 1 人しかいない地区が複数あることを肌で実感することができました。心に突き刺さるのはこの状況を誰が助けるのか。日常で住民が助け合う、弱い人を助ける、人として当たり前の事がチャレンジデーを通じて確認することができました。

日常、車で移動する人や様々に情報をやりとりしている人達には、人の弱さを感じにくい今日になっているのではないかと感じます。全住民参加対象のチャレンジデーの事業としての意味は「弱い人を助ける」この意識に繋げることが大事なのではないかと思えます。



(目指せ! 運動習慣) 「1 週間、朝のラジオ体操にチャレンジ!」
(苫前地区)



「苫前町玉入れ選手権」(苫前町スポーツセンター)

主催

名寄市チャレンジデー実行委員会 (会長 加藤剛士)
健康福祉部 高齢介護課 高齢福祉係
〒096-8686 北海道名寄市大通南 1-1
TEL: 01654-3-2111 FAX: 01654-9-2089

結果

人口: 29,090 人
参加者数: 17,681 人
参加率: 60.8%
取得メダル: 金

北海道名寄市 ●
VS
福岡県みやこ町 ○

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①朝のラジオ体操会 (市内各小中学校) 2,349 人
 - ・朝のラジオ体操会は市内各小中学校グラウンド、市内各町内会等で開催しました。誰でも参加できるオープニングイベントとして、例年多くの参加があり、今年は 2,349 人も参加をいただきました。
 - ・実施にあたっては、各小中学校への協力依頼から始まり、前日には演台、横断幕、のぼりを設置し会場を設営しました。当日は体操前に、市長、地区会長等から挨拶をいただき、健康づくりについて呼び掛けを行った後、チャレンジデー T シャツを着た児童が模範演技者となり、ラジオ体操を行いました。終了後は参加記念品として、大人はタオル、こどもには文房具を配布しました。
- ②市民綱引大会 (名寄市スポーツセンター) 1,287 人
- ③パークゴルフ大会 (市内各所) 173 人
- ④体操教室 (名寄市総合福祉センター) 65 人
- ⑤グラウンド・ゴルフ大会 (天塩川緑地グラウンドゴルフ場) 36 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／大学・専門学校／事業所・企業／自治会・町内会／高齢者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設

メディア

名寄新聞／北都新聞／北海道新聞

広報・周知

地域 FM「なよろ Air てっし」での CM 放送、市立天文台 WEB 中継「きたすばるどっこむ」に出演し PR したほか、広報車による街宣、チラシ配布、職員による企業訪問 (約 180 カ所) でポスター配布、新聞広告、市内各地にのぼり設置、関係団体 (学校・病院・高齢者関係施設・幼稚園・保育所・体育協会・町内会・各種団体等) への参加協力依頼が主な周知方法です。

参加率を高める取り組みとして、地域 FM「なよろ Air てっし」の協力でラジオ体操曲を 4 回放送 (6:30、8:40、12:40、17:40) し、職場体操の際に活用していただきました。成果とし

ては、企業における職場体操が参加報告の中で一番多く、事故防止の観点からも労働安全の普及につながっていると考えます。また市内公共施設の無料開放を行い、誰もが参加しやすい環境を提供する工夫も行っています。

製作物

チラシ 2,600 枚

実施効果

恒例のイベントとして認知度は高まっており、市民、関係団体、行政が一体となった取り組みが定着しています。子どもから高齢者まで誰でも参加できるイベントとして、市内各所において多くの市民に参加いただき、「健康づくり」「まちの活性化」につなげることができたと考えます。また、ファイナルイベントとなる市民綱引大会終了後は、参加者たちが飲食店街を賑わせ経済的な波及効果も大きいと思われました。

担当者から

チャレンジデーの取り組みを通して、健康づくりやスポーツの振興が図られるほか、町内会活動の促進、人間関係の創造など、地域力のアップを感じています。本年の対戦相手でありました福岡県みやこ町からは、チャレンジデーへの参加が 22 回と全国最多の名寄市の取り組みを参考にする様子も見られ、継続して参加できていることに誇りを感じています。勝敗は残念な結果となりましたが、運動やスポーツの習慣化を目指す意味では、年 1 回のチャレンジデーに継続的に参加することで、健康に対する意識を市全体で高めていくことができると考えています



朝のラジオ体操会



グラウンド・ゴルフ大会

ラジオ体操や綱引きなど



「健康に関心を振り向けて」と挨拶する橋本副市長

名寄 チャレンジデー実施本部会議

【名寄】チャレンジデーの「ミニイベント」実施をめぐり、敗れた20市も実施本部の意向を汲み、菅川大副市長は対戦相手の目... 会議が、17日午後5時、財団が主催の市民の健康づくりを目的とした「ラジオ体操や綱引きなど」の開催を決定した。...

名寄は福岡県みやこ町と対戦

5月27日にチャレンジデー2015

全国で過去最多の130自治体参加

運動やスポーツの参加率を高めることを目的とした「ラジオ体操や綱引きなど」の開催を決定した。...

2015年3月20日 金曜日 名寄新聞

2015年4月19日 日曜日 名寄新聞

互いの健闘誓い合う

加藤市長がみやこ町長と

【名寄】自治体同士で運動やスポーツの参加率を高めることを目的とした「ラジオ体操や綱引きなど」の開催を決定した。...

2015年5月19日 火曜日 名寄新聞



市民綱引大会

チャレンジデー 名寄市敗れる

【名寄】自治体同士が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(菅川大副市長主催)が27日行われ、市の参加率は昨年より4割下回る60.8%となった。...

2015年5月29日 金曜日 名寄新聞

主 催

東神楽町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 山本 進)
東神楽町教育委員会 地域の元気づくり課
〒071-1511 北海道上川郡東神楽町北一条西1丁目1番13号
東神楽町総合福祉会館
TEL: 0166-83-5407 FAX: 0166-83-2606

結 果

人 口: 10,245 人
参加者数: 5,284 人
参加率: 51.6%
取得メダル: 銀

北海道東神楽町 ●
VS
和歌山県上富田町 ○

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ウォークラリー (アルティモール東神楽店内) 154 人
 - ・今年3月に東神楽町内にオープンした大規模ショッピングモール「アルティモール東神楽店」店内において、5カ所のチェックポイントを回りスタンプを集めるウォークラリーを実施しました。参加者には、東神楽町のマスコットキャラクター「かぐらっき〜」をデザインした、ここでしか手に入らないオリジナルクリアファイルをプレゼントし参加の促進を図りました。
- ②おはよう! ラジオ体操 (町内各所) 113 人
- ③空き缶積み上げ (総合体育館) 29 人
- ④体力測定会 (総合体育館) 15 人
- ⑤クリーンウォーク (町内各所) 13 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/事業所・企業/商工会/青年会議所/高齢者団体/社会福祉協議会/高齢者施設

広報・周知

町の広報誌やチラシの新聞折り込み、行政無線放送などによる住民への周知のほか、ポスターの公共施設掲示や、事前に各学校や企業、福祉施設などを訪問し、イベントへの参加を呼びかけました。

今年は4回目の実施ということもあり、チャレンジデーの取り組みが広く浸透しつつあり、イベント当日に向けた住民の連帯感や機運の高まりを感じました。

製作物

チラシ4,000枚/ポケットティッシュ2,500個/ボールペン2,000本/クリアファイル500枚

実施効果

チャレンジデーの取り組みをきっかけとして、個人や企業などによる体力づくりや健康管理など、日頃からの運動やスポーツの

取り組みが着実に増えてきたように思います。

また、日頃から運動に取り組んでいる人達にとっては、普段の運動が評価され町の取り組みに貢献できることにより、運動継続の励みになっていると感じます。

さらに、運動と併せて清掃活動に取り組む団体などもあり、地域コミュニティの結束が高まりをみせている他、対戦相手とのエール交換などを通じて、他の自治体のまちづくりについても知ることができ、当町のまちづくりを進める上でも大変参考となっています。

担当者から

今回のチャレンジデーは、町としては4回目の実施ですが、担当としては初めての参加でした。

早朝から、町内にくり出し、犬の散歩やウォーキングをしている人、自転車通学の学生さんなどに声を掛け、参加していただきました。

今年は、昨年までの取り組みに加え、新たにウォークラリーなども取り入れ、参加率のアップと勝利を目指しましたが、目標としていた金メダル(参加率55%)には一歩届かず、対戦も敗れてしまいました。

しかし、参加率は過去最高を記録できたことと、住民の多大な協力により、この取り組みが着実に根付いていることを肌で感じることができましたので、来年も楽しみながら健康づくりができるよう、特にイベントプログラムの周知に力を入れて取り組みたいと思っています。



笑顔でエールを交換する水野教育長



街をきれいにしながら歩くクリーンウォーク